

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	市民会館文化事業			事務事業番号	1021080
				担当課	市民センター
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和38年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	市民センター運営条例 市民センター運営条例施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	各種文化団体や絵画創作活動に親しんでいる人
	意図	市民文化の振興を図ることを目的として、各種文化団体が1年間の成果を発表するため、又絵画創作活動に親しんでいる方を対象にホールや展示場を利用して、発表及び鑑賞の場として開催している。
大きな目的	市民文化の振興	
全体概要	ルナ・ホールや市民会館・展示場を利用して、発表及び鑑賞の場を提供している。 <input type="checkbox"/> 市民絵画展 <input type="checkbox"/> 市民ギャラリー・ステージ	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	91%	5,249	4,989		住民1人当たり(円)	57.64
	事業費	9%	628	516	957	1世帯あたり(円)	127.61
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	5,877	5,505	957	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	8%	386	462	330		
	一般財源	92%	5,491	5,043	627		
合計	100%	5,877	5,505	957			
活動 区分 (人)	職員	73%	0.56	0.55			
	嘱託・臨職等	27%	0.20	0.20			
	合計	100%	0.76	0.75			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	市民絵画展など、事業を円滑に実施する。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
市民絵画展 出品数	45点	観覧者数	685人
市民ステージ 参加団体	8団体	入場者数	3,630人
市民ギャラリー 参加団体	18団体	来場者数	7,353人
芦屋夢ステージ 参加団体	2団体	入場者数	770人
(2) 平成23年度の改善内容			
単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない
※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	市民ギャラリーの日程調整には課題が残る。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
参加団体等が毎年ほぼ同じである。 参加団体以外からは、この事業を実施している間、ホールや部屋が利用できないとの声があるため、特に市民ギャラリーの適切な実施期間の検討する。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	市民から、
内容	市民ギャラリーの時期、多目的室が使えない。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
市民ギャラリーの適切な日数を検討するため参加者にアンケートを行なう。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
文化活動団体の発表の場として、有効な事業と考えます。 実施時期の見直し検討と併せて、参加団体の掘り起こしや、開催内容をより魅力あるものとする工夫も行ってください。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	講演・講座・学級・教室等の開催			事務事業番号	1021100
				担当課	公民館
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和29年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条), 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業 の対象・意図	対象	生涯学習の機会を求めている人
	意図	さまざまな学習機会の提供。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	<input type="checkbox"/> 市民の学習ニーズ及び市の教育方針に基づいて、講演・講座・学級・教室等を開催する。 <input type="checkbox"/> 学習情報の提供と学習方法の相談、グループ育成を行う。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	61%	6,601	6,198		住民1人当たり(円)	105.83
	事業費	39%	3,619	3,909	6,586	1世帯あたり(円)	234.29
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	10,220	10,107	6,586	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	38%	3,162	3,839	3,540		
	一般財源	62%	7,058	6,268	3,046		
合計	100%	10,220	10,107	6,586			
活動分 (人)	職員	100%	1.35	1.25			
	嘱託・臨職等						
合計	100%	1.35	1.25				

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	各講座の定員数を確保できるよう工夫する		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
講座等 23講座 111回 受講者数 1,595人 延べ出席者数 6,508人 講演会等 8回 延べ参加人数 1,293人 幼稚園に出かける「幼児教育講座」 9回 延べ出席者数 528人 にほんごがっしゅう 44回 延べ出席者数 279人 NHK公開セミナー(共催) 5回 延べ参加人数 2,458人 公民館子ども教室 26回 延べ参加人数 1,144人			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
幼児教育講座関係は, 子どもの体調等日程を確保しにくい点を考慮し, 1回限りの参加も認め, 受講者の確保に努めた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 達成した ② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 市民のニーズにあった講座が開催できるよう工夫をするなど, 改善の余地がある。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
平成24年4月から民間事業者に事業委託した。今のところ, 予想以上に民間事業者側で人手が掛かっている。人件費が増えることにより, 事業内容(講座の企画・内容)に影響が出ないように注視している。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	市民から, 内容 委託により講座の質が低下しないか。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
民間事業者による事業が適切に行われているかどうか, 25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し, 評価する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
平成24年度から26年度までは民間活力導入による業務委託の実施。その実施状況を検証しながら, 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い, 導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
毎年多くの受講者を迎えており, 市民の評価も得ていると考えています。今回の委託を機に良いところを残し, 新しい芦屋の魅力を取り入れて, 継続的に市民の支持を得られるようにしてください。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	常設展示事業・公民館ギャラリー			事務事業番号	1021140
				担当課	公民館
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和42年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条), 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	学習成果の発表の場を求めている人
	意図	市民に学習成果の発表の場を提供すると共に文化意識の向上を図る。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	□市民の学習成果の発表の場として、常設展示場でテーマを設定した展示を行う。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	97%	985	1,398		住民1人当たり(円)	15.10
	事業費	3%	60	44	75	1世帯あたり(円)	33.43
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	1,045	1,442	75	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	14%	214	200	100		
	一般財源	86%	831	1,242	-25		
合計	100%	1,045	1,442	75			
活動分 (人)	職員	100%	0.15	0.25			
	嘱託・臨職等						
合計	100%	0.15	0.25				

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	年間を通じて空くことなく、常設展示場では展示をしている状態を保つよう、利用方法などの啓発を行う		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
常設展示 みんなで考えよう平和展「サダコと折鶴ポスター展」他 7/23～8/15 夏休み「公民館子ども教室」写真展 8/17～8/31 「芦屋100年」展 9/14～10/3 「阪神・淡路大震災から17年…」写真展 1/13～1/29 国史跡指定「会下山遺跡・加茂遺跡」展 2/1～2/27 芦屋川カレッジ活動展 3/7～3/19 公民館ギャラリー 16グループ			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した ② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない	
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題		部 名	社会教育部
		部 長 名	西本賢史
		展示の場の提供は市民サービスに役立つ事業と考えます。年間を通した展示施設の有効活用は、市民ボランティア等の自主運営の手法も考えてください。	
(2) 市民、関係者からの要望等			
誰から	内容		
(3) 平成24年度の目標・改善内容			
年間を通じて常設展示場で常時、展示をしている状態を保つよう、利用方法などの啓発を行う。			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性			
指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	公民館音楽会			事務事業番号	1021150
				担当課	公民館
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条), 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	音楽会の鑑賞者
	意図	市民の参画により、さまざまな音楽を聴き情操を高める。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	□土曜日に公民館音楽室を中心に音楽会を開催する。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	80%	1,393	2,129		住民1人当たり(円)	27.97
	事業費	20%	492	542	487	1世帯あたり(円)	61.92
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	1,885	2,671	487	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	26%	427	686	375		
	一般財源	74%	1,458	1,985	112		
合計	100%	1,885	2,671	487			
活動分 (人)	職員	100%	0.25	0.40			
	嘱託・臨職等						
合計	100%	0.25	0.40				

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	地元の音楽家の発表の場を設けるとともに、いろんなジャンルの音楽を提供していきたい。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください 音楽室で4回, 116多目的室で1回, ルナ・ホールで3回開催 延べ参加人数 1,702人			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 116多目的室の利用促進を狙って、同室を利用した音楽会を開催した。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない
※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題 平成24年4月から民間事業者に委託した。今のところ、予想以上に民間事業者側で人手が掛かっている。人件費が増えることにより、事業内容(講座の企画・内容)に影響が出ないように注視している。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容 民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性 平成24年度から26年度までは民間活力導入による業務委託の実施。その実施状況を検証しながら、指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
一定の回数、動員数は確保できたことは評価します。 民間活力導入下において、市民の主体性を活用した企画、運営が行えるよう、事業の進め方を検討することも必要と考える。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	公民館図書室の運営			事務事業番号	1021130
				担当課	公民館
総合計 基本策 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和42年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条), 公民館図書室運営要綱, 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	公民館図書室の利用者
	意図	生涯学習並びに教養の向上の支援。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	□公民館の施設としての図書室を整備し、図書館との連携を図って運営を行う。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	69%	2,514	3,767		住民1人当たり(円)	56.90
	事業費	31%	4,338	1,667	1,740	1世帯あたり(円)	125.97
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	6,852	5,434	1,740	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	6,852	5,434	1,740			
合計	100%	6,852	5,434	1,740			
活動 区分 (人)	職員	13%	0.35	0.15			
	嘱託・臨職等	87%		1.00			
	合計	100%	0.35	1.15			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	利用しやすい開架環境を整える。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
貸出利用者数 12,057人(対前年比 101%) 貸出利用冊数 34,501冊(対前年比 100%) 蔵書総冊数 25,451冊(成人 19,735冊 児童5,716冊) 図書受入冊数 911冊(成人 645冊 児童 266冊) 図書除籍冊数 2,914冊(成人 2,584冊 児童 330冊) 登録者数 110人 紙芝居保有数 561冊			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
1月に蔵書点検を行った。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
図書館本館との連携のあり方	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
市民が利用しやすい環境を整える。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い, 導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
安定して多くの利用者があり, 有効な事業実施ができたと考える。 将来的に, 民間活性化に向けて, この図書室を公民館が所管するのがよいのか, 図書館の所管が適当かの検討は必要と考える。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	地区集会所管理運営事業			事務事業番号	1012010
				担当課	市民参画課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	福島 貴美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	福島 貴美
	施策目標	1-2	市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	内線	2123
事務区分	自治事務	実施期間	昭和40年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市立地区集会所の設置及び管理に関する条例				

2 事務事業の概要等

事務事業 の 目的 対 象 ・ 意 図	対 象	市民及び市内に事務所又は事業所を有する者
	意 図	コミュニティづくりと生涯学習の推進
大きな目的	市民相互の親睦と文化活動の増進	
全体概要	<p>□公の施設である地区集会所を市民の手で管理運営を行なう指定管理者「芦屋市地区集会所運営協議会連合会」を組織して、集会所の管理運営を行う。</p> <p>□市民が集会所の管理運営を行う指定管理者「芦屋市地区集会所運営協議会連合会」を支援する。</p> <p>□兵庫県の県民交流広場事業は、大原集会所・西蔵集会所・潮見集会所(5年の活動期間を経て自主的な活動)、翠ヶ丘集会所(平成19年度～平成23年度)、前田・春日・打出・浜風集会所(平成20年度～平成24年度)、朝日ヶ丘集会所(平成21年度～平成25年度)まで引き続き事業の支援に取り組む。</p> <p>□長期修繕計画を立て、順次、見直しをしながら、改修・修繕を行う。</p>	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内 訳 (千円)	人件費	8%	8,531	8,944		住民1人当たり(円)	1,247.17
	事業費	92%	442,577	110,161	138,024	1世帯あたり(円)	2,761.02
	他部門経費		425			人 口	95,500
	減価償却費					世 帯 数	43,138
	合 計	100%	451,533	119,105	138,024	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財 源 (千円)	国 費		24,678			特記事項・備考	
	県 費						
	市 債		387,600				
	そ の 他						
	一般財源	100%	39,255	119,105	138,024		
	合 計	100%	451,533	119,105	138,024		
活 動 分 (人)	職 員	65%	0.75	0.75			
	嘱託・臨職等	35%	0.40	0.40			
	合 計	100%	1.15	1.15			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	委託	委託先・指定管理者等	芦屋市地区集会所運営協議会連合会 集会所の運営
23年度目標	三条地区集会所新設工事。打出・西蔵・翠ヶ丘地区集会所の空調機改修工事。翠ヶ丘地区集会所便器取替工事(洋式化)。大原集会所防犯カメラ設置工事		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 総事業費 110,161千円 地区集会所維持管理に要する経費(業務委託料他 18,448千円) 地区集会所運営に要する経費 (管理委託料 3,000千円) 地区集会所の整備に要する経費 (三条集会所整備費他 88,713千円) <input type="checkbox"/> 指定管理者(芦屋市地区集会所運営協議会連合会)の実施内容 ・地区集会所(12箇所)の使用件数17,108件、使用料収入16,132,025円で、理事会で予算を決める際に、数値目標を設定しており、事業計画に沿った良好な収入・支出状況、利用件数、利用率であった。 ・住民や利用者がボランティアとしてサービス実施や運営に積極的に参画している。 <input type="checkbox"/> 市民参画課の実施内容 ・理事会や管理人会議にオブザーバーとして参加し、指定管理者と意見交換を行い、事務局と定期的に会議を行った。 ・潮見・翠ヶ丘、前田、春日、打出、浜風地区集会所の県民交流広場事業の活動を支援した。 ・三条地区集会所の新設に着手し、進行管理(一部合意形成)を行い、建設を行った。一方で、運営協議会の立ち上げ、運営協議会連合会への加入といった指定管理者体制の確立も、行った。 ・指定管理者との基本協定について、一部見直しを行った。			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			
<input type="checkbox"/> 芦屋市立地区集会所(12箇所)の使用状況と使用料は増加した。 平成23年度 使用状況 46.38%, 使用料 16,132,025円 平成22年度 使用状況 43.35%, 使用料 15,275,340円			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 達成した ② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない 芦屋市立地区集会所(12箇所)を地域活動の拠点として、市民の運営によるコミュニティづくりと生涯学習活動の推進が行われ、集会所の使用料収入が増えた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 芦屋市立地区集会所(12箇所)が連合を組んで組織した芦屋市地区集会所運営協議会が管理運営を行い市民参画課が支援することにより、市民と市が協働による住みよいまちづくりを行っている。各種マニュアルを作成したり、管理人に対してパソコン研修をするなど、ある程度改善の余地がある。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題	部名	市民生活部
地区集会所運営協議会の会長には、指定管理者制度基本協定、年度協定についてご理解をいただき、指定管理者として地区集会所を管理運営いただいているが、役員への説明や役員交代にともなう引継ぎなどで、情報を共有することが大変であると考えている。集会所の利用があるときには、管理人を配置することになったため、管理人の雇用保険などの関連の事務が増えている。	部長名	北川加津美
(2) 市民、関係者からの要望等	集会所の運営については、各集会所ごとに多大なご尽力を賜っております。マニュアルの作成等、市民参加型の集会所運営が円滑に実施できるように、市として支援していくことは適切である。	
誰から	芦屋市地区集会所運営協議会理事	内容
集会所の支援体制をもっと手厚くしてほしい。		
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
<input type="checkbox"/> 竹園地区集会所建替え工事 ・建替え工事に向けて、自治会等の意見をまとめる。 ・建替え工事(近隣説明、工事説明会、工事着工、初度備品購入、工事完成)に取り組む。 <input type="checkbox"/> 集会所設備補修工事		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		
各集会所で管理人が窓口の対応を行う水準を更に向上するため、マニュアルの作成等を予定している。集会所で葬儀がある場合に他の利用者や、本来の利用者に迷惑を掛けない形に改善できないか検討したい。		
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合		

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	上宮川文化センター管理運営			事務事業番号	1031050
				担当課	上宮川文化センター
総合計画 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	山田 淳二郎
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	山田 淳二郎
	施策目標	3-1	平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	内線	2777
事務区分	自治事務	実施期間	昭和61年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市立上宮川文化センターの設置及び管理に関する条例				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	芦屋市民
	意図	芦屋市民の人権意識の向上と開かれたコミュニティセンターとしての住民の交流の場の提供。
大きな目的	人権啓発の推進、開かれたコミュニティセンターとしての住民交流の場の提供、センター施設・設備等の良好な維持管理	
全体概要	<input type="checkbox"/> 隣保館事業、児童センター事業の他、センターの貸室業務 <input type="checkbox"/> 運営審議会によるセンターの運営に関する重要事項の調査審議 <input type="checkbox"/> センターの維持管理	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	32%	14,683	13,851		住民1人当たり(円)	447.92
	事業費	41%	19,640	17,588	22,147	1世帯あたり(円)	991.61
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費	27%	11,337	11,337		世帯数	43,138
	合計	100%	45,660	42,776	22,147	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	8%	3,305	3,505	3,086		
	一般財源	92%	42,355	39,271	19,061		
合計	100%	45,660	42,776	22,147			
活動分 (人)	職員	36%	0.95	1.00			
	嘱託・臨職等	64%	1.88	1.76			
	合計	100%	2.83	2.76			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	三木美研舎
		委託内容等	上宮川文化センター受付業務(土曜日のみ)
23年度目標	この施設の設置目的を利用者の皆さんに広く知ってもらい、開かれたコミュニティーセンターとして親しみのもてる館を目指し、利用者増を図る。また、センターの適切な維持管理を行う。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 上宮川文化センター運営審議会の開催 : 平成23年5月17日, 10月20日の2回開催 隣保館, 児童センター事業について審議 <input type="checkbox"/> 視聴覚室用テーブルを4台購入75千円, 児童センター事業用テーブル3台購入57千円 <input type="checkbox"/> 遊戯室内壁内装工事 170千円 <input type="checkbox"/> 劣化等による非難誘導灯等を全面取替え設置 683千円 <input type="checkbox"/> 貸室使用料収入 3,168千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
<input type="checkbox"/> 老朽化した備品の更新及び施設利用の利便性の向上 <input type="checkbox"/> 視聴覚室用テーブルを4台購入75千円, 児童センター事業用テーブル3台購入57千円 <input type="checkbox"/> 遊戯室内壁内装工事 170千円 <input type="checkbox"/> 劣化等による避難誘導灯等を全面取替え設置 683千円			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> 整合性はある <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。 人権課題を意識し、また、利用者の利便性を考えた施設・設備等の維持管理を実施してきた。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input type="radio"/> 達成した <input type="radio"/> 概ね達成した <input checked="" type="radio"/> 一部達成した <input type="radio"/> ほとんど達成していない いこいの間: 畳からフローリング, 遊戯室: クッション性のあるフロアの補修ができなかった。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> 改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 施設改修及び備品類等の更新による施設の利便性向上及び貸室稼働率の向上

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
<input type="checkbox"/> 貸室利用部分のテーブル・イス等の備品類の経年劣化による更新 <input type="checkbox"/> 高齢者や子どもの安全管理 <input type="checkbox"/> 貸室稼働率の向上	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	地域団体 内容 職員の研修の充実
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
<input type="checkbox"/> 高齢者や子どもの利用に対する安全管理の再検討 <input type="checkbox"/> テーブル・イス等備品類の更新 <input type="checkbox"/> 貸室稼働率の向上	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
<input type="checkbox"/> 高齢者や子どもの利用に対する安全管理の再検討 <input type="checkbox"/> テーブル・イス等備品類の更新 <input type="checkbox"/> 貸室稼働率の向上	

7 部長の2次評価

部名	市民生活部
部長名	北川加津美
高齢者や子どもの利用に対する安全管理の再検討, 備品類の更新, 貸室稼働率の向上を改善・方向性とするは適切である。安全管理の再検討は最優先で取り組むこと。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	打出教育文化センター管理運営			事務事業番号	1041300
				担当課	打出教育文化センター
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	石田 秀夫
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	石田 秀夫
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	内線	
事務区分	自治事務	実施期間	平成2年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	地方教育行政法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第30条), 打出教育文化センター条例等				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民, 学校教職員
	意図	芦屋市民とその関係者に対し安全で美しい施設管理を行う。また, 研修に使用しない時期に会議室等を貸室として市民に貸すことにより, 様々な文化活動を行い, コミュニティーの場として運営を図る。
大きな目的	市民の憩いの場とする。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 適切な電気設備, 消防設備, 清掃・窓口業務, 空調設備, 自動扉保守点検, 池濾過管理等を行う。 <input type="checkbox"/> 貸室を行う。 <input type="checkbox"/> AEDの設置。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	14%	3,134	2,668		住民1人当たり(円)	205.63
	事業費	36%	10,647	6,997	7,637	1世帯あたり(円)	455.24
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費	51%	9,973	9,973		世帯数	43,138
	合計	100%	23,754	19,638	7,637	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	23,754	19,638	7,637		
	合計	100%	23,754	19,638	7,637		
活動 区分 (人)	職員	67%	0.25	0.20			
	嘱託・臨職等	33%	0.10	0.10			
	合計	100%	0.35	0.30			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	保守点検業務の委託
23年度目標	市民の方が快適に過ごせるように管理運営を行う。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください 適切な電気設備, 消防設備, 清掃・窓口業務, 空調設備, 自動扉保守点検, 池濾過管理等を行う。(需用費・役務費 3,550千円) (施設設備の点検保守等の委託契約 2,841千円) ・夜間機械警備委託 803千円 ・消防設備保守委託料 34千円 ・電気設備保守委託料 120千円 ・夜間管理受付業務 610千円 ・清掃(窓ガラス含む)委託料 607千円 ・空調機器保守委託料 167千円 ・自動ドア保守委託料 57千円 ・植木手入れ委託料 800千円 ・池濾過点検業務委託料 198千円 ・樹木維持管理委託料 798千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。 ・検収施設として大会議室の天井部分にプロジェクター設置(365千円) ・会議室LAN工事(168千円) ・石積擁壁補修工事(299千円)			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input type="radio"/> 達成した ② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない ・研修の幅が広がり, 研修の計画運営がやりやすくなった。 ・周囲の環境に対する施設の安全性が高まった。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 研修施設としての教育機器導入等により, 研修施設としての機能を向上させる。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
・空調設備の改修 ・エレベーターの設置	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	市民・地域住民
内容	打出教育文化センターの美しい環境を大事に守ってほしい。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
・老朽化する建物施設の現状を詳細にわたって把握し, 順次整備に取り組む。 ・会議室や特別支援ルームの設備を充実させ, 貸室等の利用拡大を更に図る。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
・老朽化する建物施設の現状を詳細にわたって把握し, 順次整備に取り組む。 ・会議室や特別支援ルームの設備を充実させ, 貸室等の利用拡大を更に図る。 ・教育相談の充実を図るため, 業務のあり方を整理する。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下秀夫
・研修施設としての機能を高めていくために有効な事業である。 ・研修内容の充実を図るとともに, 施設設備の充実を図ること。	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	図書館運営事業(収集整理利用)			事務事業番号	1021170
				担当課	図書館
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	木村 守彦
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	木村 守彦
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3297
事務区分	自治事務	実施期間	昭和24年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	図書館法, 図書館設置条例				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	芦屋市在住・在勤・在学者, 阪神7市1町在住者
	意図	市民等利用者に対し, 資料を収集・整理・保存して利用に供し, 調査研究, レクリエーションに活用してもらい, 市民の福祉・文化向上に寄与する。
大きな目的	図書館からの幅広い学習機会の提供により, 住民の生涯学習を支援していく。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理 <input type="checkbox"/> 資料の収集(選書・発注・受入・装備・整理・保存), 利用, リクエスト <input type="checkbox"/> 相互利用, 相互協力, 障害者奉仕, 予約業務 <input type="checkbox"/> 参考調査相談業務 <input type="checkbox"/> 行事・催物を開催し, 市民の教養・知的欲求に資す。 <input type="checkbox"/> 図書館だより「みんなの本棚」発行 <input type="checkbox"/> 図書館ホームページの運営 <input type="checkbox"/> 図書館協議会の運営 <input type="checkbox"/> 日本図書館協会等に加盟	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	56%	125,271	124,350		住民1人当たり(円)	2,325.94
	事業費	35%	75,632	76,807	99,318	1世帯あたり(円)	5,149.22
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費	9%	20,970	20,970		世帯数	43,138
	合計	100%	221,873	222,127	99,318	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	2%	5,345	5,455	2,658		
	一般財源	98%	216,528	216,672	96,660		
合計	100%	221,873	222,127	99,318			
活動 区分 (人)	職員	69%	11.20	12.92			
	嘱託・臨職等	31%	6.92	5.92			
	合計	100%	18.12	18.84			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	図書館本館は直営。打出分室はボランティアに運営委託。大原分室は業者に運営委託。
23年度目標	インターネットによる予約を利用者に定着させる。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
インターネットによる予約件数を増加させる。 決算内訳 単位:千円			
01	図書館協議会経費	134	図書館協議会を2回開催した
02	一般事務費	13,459	
03	維持管理費	23,055	
04	運営費	26,104	
05	打出分室運営経費	1,909	打出分室運営ボランティアに関する経費等
06	大原分室運営経費	9,404	大原分室の委託料等
07	視聴覚教育ライブラリー経費	16	映写機の補修
12	車両購入費	832	公用車の購入
17	図書整備支援事業	1,894	図書の購入
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
インターネットによる予約件数が増加した。 平成22年度予約件数 115,280件(内インターネット予約件数 78,067件) 平成23年度予約件数 129,532件(内インターネット予約件数 90,723件)			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	在架から資料を集める作業について機械化できない。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
読書による市民文化の向上をより一層推進する。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
読書好きの子どもを増やし, 将来の図書館利用者の拡大につなげていく。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
図書館所蔵の児童書の傷みが進んできているため, 児童書の買い替えを進めていく。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本 賢史
図書の貸出し等に関しては着実に増加していることから評価できるのですが, 量的な側面だけでなく, 公立の図書館としての質の確保も大切と考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	美術博物館管理運営委託事業			事務事業番号	1021190
				担当課	生涯学習課
	総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名
目標とする10年 後の芦屋の姿		1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
施策目標		2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3281
事務区分	自治事務	実施期間	平成19年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	市民及び全国の文学・美術・歴史等の愛好者
	意図	美術博物館の運営及び維持管理。
大きな目的	施設を良好に維持管理するとともに、「市民に親しまれる美術博物館」として運営を行う。	
全体概要	【美術博物館の管理運営業務】 <input type="checkbox"/> 施設補修の維持管理業務 <input type="checkbox"/> 施設の運営業務 【美術博物館の運営業務】 <input type="checkbox"/> 展覧会の開催 <input type="checkbox"/> 資料の保存・整理 <input type="checkbox"/> 教育普及活動業務 <input type="checkbox"/> 公募展の開催	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	4%	1,384	3,237		住民1人当たり(円)	764.79
	事業費	96%	46,426	69,800	69,800	1世帯あたり(円)	1,693.10
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	47,810	73,037	69,800	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	1%	4,635	939	1,100		
	一般財源	99%	43,175	72,098	68,700		
合計	100%	47,810	73,037	69,800			
活動 区分 (人)	職員	63%	0.20	0.40			
	嘱託・臨職等	38%	0.16	0.24			
	合計	100%	0.36	0.64			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等 委託内容等	指定管理者(小学館集英社プロダクション 美術博物館の管理運営等)
23年度目標	指定管理者へのスムーズな移行と入館者数の増加を期待		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
指定管理料	69,800千円		
入館者数	21,511人		
・公募展事業	1,322人		
・常設・企画展事業	15,823人		
・展覧会関連事業	1,513人		
・講演, 講座等	265人		
・ワークショップ等	85人		
・その他事業	2,577人		
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
指定管理者による施設管理及び事業実施			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	円滑な施設管理や幅広い事業の展開を行っているが, 入館者数の増加にはあまり結び付かなかった。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	指定管理者が3つの組織(小学館集英社プロダクション, 芦屋ミュージアム・マネジメント, グローバルコミュニティグループ)で構成されているため, 運営等についての十分な意思疎通ができていたとは言い難い。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
・入館者数の低迷 ・来年度における新たな指定管理者の選定	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
・指定管理者の組織強化	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
指定管理者としての契約締結期間の長期化を図り, より一層の事業の安定化に資する。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本 賢史
指標としての来館者数は対前年比で増加していることは評価できる。 平成24年度はその方針で進めれば良いと考えるが, 併せて小さな市の美術館であることから, 来館者数だけでなく, 幅広く市民に利用される施設になる展示が実施できるよう指定管理者との調整が必要と考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	富田碎花顕彰事業管理委託(旧居管理)			事務事業番号	1021240
				担当課	生涯学習課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	長岡 一美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3261
事務区分	自治事務	実施期間	昭和62年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	詩人富田碎花に関心を持つ人々
	意図	旧居を訪れる方々が、建物のたたずまいや資料展示から情熱の詩人富田碎花の心を感じとっていただくこと。
大きな目的	芦屋の豊かな風土は、心のふるさととして多彩な文化を育み数々の名作を生み出した。兵庫文化の父「富田碎花」の偉業を顕彰し後世へ伝える必要がある。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 詩人富田碎花の旧居の保存整備 <input type="checkbox"/> 寄贈資料の保存・整理・公開	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	35%	453	456		住民1人当たり(円)	13.73
	事業費	65%	735	855	1,100	1世帯あたり(円)	30.39
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	1,188	1,311	1,100	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	1,188	1,311	1,100			
合計	100%	1,188	1,311	1,100			
活動 区分 (人)	職員	38%	0.05	0.05			
	嘱託・臨職等	62%	0.08	0.08			
	合計	100%	0.13	0.13			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	富田碎花顕彰会
		委託内容等	旧居管理委託
23年度目標			
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
週2回(水, 日)の公開 ・事業費 855千円 (管理委託料 313, 警備委託料240, 剪定委託料 187, 光熱水費 47, その他 68) ・入館料 無料 ・来場者 416人			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題		
築100年近い建物のため, 各所に劣化が見られ, 相当の修理を要する。 壁も壁板, 下の棧が劣化。		
(2) 市民, 関係者からの要望等		
誰から		内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本 賢史
旧居の公開は来館者の数から, この事業目的に対して妥当であると判断します。しかし年々施設の老朽化は否めず, 保全するには将来新たな予算措置も必要となることから, 受益者負担の考え方も含め有料化等も視野に入れた施設の運営方針を, 市として検討する必要があると考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	文化施設管理業務(谷崎)			事務事業番号	1021210
				担当課	生涯学習課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	長岡 一美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3281
事務区分	自治事務	実施期間	平成18年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	市民等全国の谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者
	意図	指定管理者により入館者館が安全快適に観覧できるよう設備・施設を良好に維持管理する。また、多くの市民に谷崎文学の世界を楽しんでいただくとともに、文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰することを目的とし、資料展示等を行う。
大きな目的	谷崎潤一郎記念館の入館者が安全快適に観覧いただくとともに、谷崎潤一郎文学の業績をしのび、その作品遺品等に接することを通じて市民等の教養を深める。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎記念館の指定管理者による運営及び維持管理 ・資料の収集, 整理, 展示等を行う。 ・各設備等の保守点検。 ・館及び館周辺の清掃。 <input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎記念館の施設補修	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	7%	1,145	1,393		住民1人当たり(円)	223.47
	事業費	93%	18,437	19,948	20,780	1世帯あたり(円)	494.71
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	19,582	21,341	20,780	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	1%	127	133	421		
	一般財源	99%	19,455	21,208	20,359		
合計	100%	19,582	21,341	20,780			
活動 区分 (人)	職員	63%	0.20	0.40			
	嘱託・臨職等	38%	0.16	0.24			
	合計	100%	0.36	0.64	0.00		

4 平成23年度の実施内容

実施区分	委託	委託先・指定管理者等	指定管理者(読売新聞・武庫川学院事業)
		委託内容等	谷崎潤一郎の資料等の展示及び芦屋市谷崎潤一郎記念館の運営
23年度目標	入館者数の増加		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
指定管理料	18,485千円		
その他	1,463千円		
入館者	14,276人		
展示事業			
ロビーギャラリー			
文学館講座			
朗読会			
特別イベント			
残月祭	349人		
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
各種イベント, 講座, ツアーなど多くの企画事業の情報提供 入館者等の利用要望の把握			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	幅広く特別展や講座・特別イベントを開催し, 入館者の増加を図った。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	入館者数の増加を図る企画展の開催, 姉妹館との連携拡充

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題		部名	社会教育部
管理費の削減を図る。 敷地内池に係る下水道使用料の対応策		部長名	西本 賢史
(2) 市民, 関係者からの要望等		小さな規模の施設を単体で指定管理しているため, 施設部分に対する管理に投入する資源が不足することは止むを得ないことと思います。 市の文化施設として施設管理も含めて有効な管理を行える体制の検討が必要。	
誰から	内容		
(3) 平成24年度の目標・改善内容			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性			
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院			事務事業番号	1021110
				担当課	公民館
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和60年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び22条), 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	60歳以上の市民
	意図	60歳以上の市民を対象に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。芦屋川カレッジ修了生がより高度な教養を身につけ、受講生間の仲間作りに取り組む。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	<input type="checkbox"/> 芦屋川カレッジ事業 <input type="checkbox"/> 芦屋川カレッジ大学院事業	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	77%	5,280	8,140		住民1人当たり(円)	110.06
	事業費	23%	2,270	2,371	6,771	1世帯あたり(円)	243.66
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	7,550	10,511	6,771	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	26%	2,468	2,783	3,156		
	一般財源	74%	5,082	7,728	3,615		
合計	100%	7,550	10,511	6,771			
活動 区分 (人)	職員	43%	0.20	0.75			
	嘱託・臨職等	57%	1.00	1.00			
	合計	100%	1.20	1.75			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	定員割れを起こさないよう、ニーズを的確に捉え、魅力のあるカレッジを目指すとともに、PR方法や募集期間等工夫をする。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
芦屋川カレッジ 必修コース 36回 選択コース 15回 男性 47人 女性 57人 平均年齢 68歳 平均出席率 92% 芦屋川カレッジ聴講生 男性 50人 女性 38人 平均出席率 68% 芦屋川カレッジ大学院 男性31人 女性70人 伝統芸能をひも解く 13回 平均出席率 98%			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 募集チラシの作成時期を早め、口コミで受講者を募るなど、定員確保に努めた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	定員割れを起こさないよう、ニーズを的確に捉え、魅力のあるカレッジを目指すとともに、PR方法や募集期間等工夫をする。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題 平成24年度から民間事業者へ事業委託した。今のところ、予想以上に民間事業者側で人手が掛かっている。人件費が増えることにより、事業内容(講座の企画・内容)に影響が出ないよう注視している。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	市民(学友会)から、
内容	委託により、今までの市民とともに作ってきた伝統が継承されるかどうか不安である。
(3) 平成24年度の目標・改善内容 民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性 平成24年度から26年度までは民間活力導入による業務委託の実施。その実施状況を検証しながら、指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
カレッジは歴史のある事業で、一定の参加者を確保できていると認識しています。どこが実施するかより、充実した講座構成が必要であると考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	阪神南青い鳥・くすの木学級の開催			事務事業番号	1021160
				担当課	公民館
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	昭和49年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条), 芦屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	阪神南3市の視覚・聴覚言語障がい者
	意図	阪神南3市の視覚・聴覚言語障がい者の交流。
大きな目的	障がい者の地域、年齢を超えた交流を図る	
全体概要	□阪神南3市(芦屋市・尼崎市・西宮市)の視覚・聴覚言語障がい者を対象にした学級の開催	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	100%	3,740	2,496		住民1人当たり(円)	26.14
	事業費					1世帯あたり(円)	57.86
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	3,740	2,496		平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費					この事業での経費は、県負担だが、人手・ 会場費は各市負担。会場費は免除してい る。	
	市債						
	その他						
一般財源	100%	3,740	2,496				
	合計	100%	3,740	2,496			
活動分 (人)	職員	100%	0.65	0.35			
	嘱託・臨職等						
	合計	100%	0.65	0.35			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	青い鳥学級の事務局を担当 受講者募集に際して、市内の視覚障がい者全員に募集要項が届くようにする。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
県からの委託事業 平成23年度、阪神南青い鳥学級は芦屋市が、阪神南くすの木学級は尼崎市が担当した。			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
障がい福祉課を通じて、視覚障がい者宛ての郵便物に青い鳥学級の募集案内を同封してもらった。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題 参加者が限られている。		部名	社会教育部
		部長名	西本賢史
(2) 市民、関係者からの要望等		県から阪神3市を対象とした委託事業の中で、23年度の役割を果たせたと評価します。 県の委託事業が継続する限り、芦屋市の役割を担う必要があるが、将来の民活導入下での運営方法の検討が必要。	
誰から	内容		
(3) 平成24年度の目標・改善内容 県の委託事業であるが、他の講座と同様に民間委託が可能か検討する。			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。			
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

7 部長の2次評価

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	交通バリアフリー基本構想に関すること			事務事業番号	3122010
				担当課	都市計画課
総合計画 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	3	人々のまちを大切にする心や暮らし方をまちなみにつなげる	課長名	山城 勝
	目標とする10年 後の芦屋の姿	12	交通マナーと思いやりがまちに行き渡り、市内が安全に安心して移動できるようになっている	記入者名	山城 勝
	施策目標	12-2	公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	内線	2923
事務区分	自治事務	実施期間	平成18年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	バリアフリー法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民
意図	芦屋市交通バリアフリー基本構想の実現に向けて、市民、福祉関係団体、民間事業者及び行政の関係者が連携し、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたより質の高いバリアフリー施策を推進する。	
大きな目的	だれもが安全、安心に、そして快適に暮らせるまちづくりを目指し、全ての人々がともに支えあう社会づくりを進める	
全体概要	<input type="checkbox"/> 基本構想に位置づけられた事業及びユニバーサル社会づくりを推進するための協議会を設置し運営する。 <input type="checkbox"/> ユニバーサル社会づくり推進地区の検討を行う。 <input type="checkbox"/> ユニバーサル社会づくりに関する活動費助成やモデル施設等改修費補助を行う。 <input type="checkbox"/> 芦屋市交通バリアフリー基本構想の見直しを行う。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	89%	3,933	6,705		住民1人当たり(円)	78.98
	事業費	11%	358	838	6,105	1世帯あたり(円)	174.86
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	4,291	7,543	6,105	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費	3%		210	2,937		
	市債						
	その他						
	一般財源	97%	4,291	7,333	3,168		
	合計	100%	4,291	7,543	6,105		
活動分 (人)	職員	100%	0.50	0.70			
	嘱託・臨職等						
	合計	100%	0.50	0.70			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	(特非)あしやNPOセンター
		委託内容等	阪神芦屋駅・市役所周辺地区ユニバーサルマップ作成業務委託
23年度目標	芦屋市交通バリアフリー基本構想の長期的課題の解決に向けての協議		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 芦屋市交通バリアフリー推進連絡会の開催 [50千円] ・推進連絡会の開催: 1回(平成24年3月27日) ※内容: 各事業者の事業報告及び実施計画を基に連絡調整 <input type="checkbox"/> ユニバーサル社会づくり推進地区協議会の開催 [420千円] ・協議会の開催: 1回(平成23年4月28日) ・ワーキング部会の設置・開催: 7回 (平成23年10月5日, 11月2日, 12月5日, 平成24年1月30日, 2月28日, 3月7日, 3月19日) <input type="checkbox"/> 庁舎周辺バリアフリー整備計画の作成 [368千円] ・庁内協議(各種課題の確認) ・関係機関協議(県都市政策課, 兵庫国道事務所)			
(2) 平成23年度の改善内容			
単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない
※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	庁舎周辺バリアフリー整備の検討においては課題の整理により, 概ね実施に向けての意思決定が図られているが, 国道43号精道交差点に関する部分については, なお関係機関との調整を必要としているため。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	必要な経費は, 会議開催に伴うものであるため。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
・芦屋市交通バリアフリー基本構想の長期的課題の解決に向けての調整	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	沿道住民
内容	精道交差点の横断歩道橋にエレベーターを設置(南・北)
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
・芦屋市交通バリアフリー推進連絡会の開催 (下半期(3月頃)に開催し, 各事業者の事業報告及び実施計画を基に連絡調整を行う。) ・ユニバーサル社会づくり推進地区協議会の開催 (モデル事業プランに基づき, 協議会を開催し, ソフト施策の取組を引き続き実施する。) ・庁舎周辺バリアフリー整備計画の実施・調整 (北館前広場エレベーター設置工事を完了する。)	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
・長期的課題への対応	

7 部長の2次評価

部名	都市環境部(都市計画担当)
部長名	林 茂晴
「芦屋市交通バリアフリー基本構想」の短期目標は, ほぼ完了しており, 長期的課題について, 推進連絡会を通して関係機関等の情報を共有することができており, 本市のバリアフリー推進に有効に働いている。 また, 庁舎周辺バリアフリー整備にあわせ, 国道43号の課題解決に向けて取組みを行なううえでも有効であると考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	文化体育振興事業			事務事業番号	1041150
				担当課	学校教育課
総合計 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成 長している	内線	3234
事務区分	自治事務	実施期間	昭和54年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	学校教育法				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	幼児、児童、生徒
	意図	幼児・児童・生徒が文化体育活動への意欲が高まる。
大きな目的	幼児・児童・生徒の文化体育への意欲の高揚及び学校園教育の市民への啓発	
全体概要	<input type="checkbox"/> 自由研究・教育活動展開催・自由研究冊子作成 <input type="checkbox"/> 中学校総合文化祭開催 <input type="checkbox"/> 造形教育展開催 <input type="checkbox"/> 芦屋市吹奏楽連盟演奏会開催 <input type="checkbox"/> 総合体育大会開会式運営	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	62%	1,813	3,386		住民1人当たり(円)	57.59
	事業費	38%	2,045	2,114	2,934	1世帯あたり(円)	127.50
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	3,858	5,500	2,934	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	3,858	5,500	2,934		
	合計	100%	3,858	5,500	2,934		
活動分 (人)	職員	75%	0.15	0.30			
	嘱託・臨職等	25%	0.10	0.10			
	合計	100%	0.25	0.40			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	1 自由研究・教育活動展のより見やすい展示方法を工夫する。 2 市民への啓発について、チラシなど市民センターなどの公共施設にも置くなどする。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
1	自由研究・教育活動展の開催	展示作品数 約340点 入場者数約1,450人	
2	自由研究発表冊子作成	配布数1,500冊	
3	中学校総合文化祭の開催	展示の部 作品数 約460点 入場者数 約380人 音楽の部 入場者数 約1,000人	
4	造形教育展の開催	作品数 約1,000点 入場者数 約4,350人	
5	総合体育大会開会式	約700人	
事業費内訳 消耗品費 290千円 自由研究のすすめ冊子印刷 214千円 会場設営費 685千円 バス送迎費 123千円 施設等借上料 567千円 中学校総合体育大会看護師代 235千円 計 2,114千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			
1 市民センターなどにチラシを置くなど、市民へ啓発できた。 2 熱中症対策のため、中学校総合体育大会において、看護師を各会場に配置することができた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	1 市民センター改修後、2回目の展示となり、前回の反省をもとに展示が行えた。 2 チラシを市民センターや美術博物館にも置いたり、美術博物館のHPに造形教育展のことを掲載したり、広く市民に啓発することができた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	1 展示方法について、パネルを使えない部分への作品掲示に工夫が必要である。 2 総合体育大会開会式において、より効率的で生徒の意欲向上のためのプログラムの見直しが必要である。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題		
1 自由研究・教育活動展では、学校の夏の課題の展示が中心となるため、子どもたちの自由な発想で課題に取り組めるが、作品の選出は各学校園の判断だけにまかされる現状がある。 2 中学校総合体育大会開会式の内容の充実に向けた検討が必要である。		
(2) 市民、関係者からの要望等		
誰から	市民・保護者(入場者)	内容 展示方法の工夫
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
1 展示方法について、パネルを使えない部分への作品掲示を工夫する。 2 総合体育大会開会式において、生徒の意欲向上のためのプログラムの検討を行う。		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		
1 HP、チラシの配布方法などで、子どもたちの教育活動の啓発に努める。 2 基本的に24年度の改善の方向を継続して実施する。		

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下 秀夫
・ 幼児児童生徒の文化体育活動への意欲向上と活性化に有効であり、継続して計画実施する必要がある。	
・ 実施計画や市民への啓発方法を改善しながら一層充実した内容を目指していくこと。	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 6 月 19 日 現在

事務事業名	義務教育運営等事務			事務事業番号	1041050
				担当課	学校教育課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	内線	3233
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	学校教育法				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	小・中学校児童生徒, 教職員
	意図	各学校の教材, 消耗備品が充実する中で, 教員が様々な教育課題に対して研究, 実践を重ね, 義務教育の目的を達成する。
大きな目的	小・中学校運営における円滑化	
全体概要	<input type="checkbox"/> 小中学校の教科等研究推進に伴う予算執行・管理事務 <input type="checkbox"/> 小中学校の研究発表等に対する指導助言 <input type="checkbox"/> 小中学校の消耗備品購入等, 学校の教育環境充実に向けての予算執行・管理事務 <input type="checkbox"/> 部活動の運営委託事務等, 中学校の部活動に対する指導, 支援	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	3%	2,933	862		住民1人当たり(円)	347.55
	事業費	97%	48,889	32,329	35,169	1世帯あたり(円)	769.41
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	51,822	33,191	35,169	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	51,822	33,191	35,169			
合計	100%	51,822	33,191	35,169			
活動 配分 (人)	職員	44%	0.25	0.80			
	嘱託・臨職等	56%		1.00			
	合計	100%	0.25	1.80			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	委託先・指定管理者等																									
	直営	委託内容等																								
23年度目標	1 小中学校の教育活動に必要な教材の整備、校内研究会、研修会の開催等を支援する。 2 部活動の円滑な実施を図るため、運営委託の方法等を整理し、円滑な予算執行事務を支援する。																									
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください																										
1 部活動委託料の執行について新たな規約を定め、円滑な予算執行を行うことで、部活動の活性化を図った。 (中学校部活動委託料7,570千円) 2 小中学校に教育活動に必要な教材・教具の整備・充実に努めた。 3 小中学校が、独自で設定した教育課題の解決に向けて、積極的に校内研究会や研修会を実施できるよう支援した。																										
事業費内訳(単位千円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>683</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>消耗品費等</td> <td>12,328</td> <td>7,405</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>599</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>物品補修費</td> <td>692</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td>手数料・運搬料等</td> <td>111</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>部活動委託料</td> <td>0</td> <td>7,570</td> </tr> <tr> <td>負担金等</td> <td>1,010</td> <td>518</td> </tr> </tbody> </table>				小学校	中学校	報償費	683	236	消耗品費等	12,328	7,405	印刷製本費	599	266	物品補修費	692	625	手数料・運搬料等	111	286	部活動委託料	0	7,570	負担金等	1,010	518
	小学校	中学校																								
報償費	683	236																								
消耗品費等	12,328	7,405																								
印刷製本費	599	266																								
物品補修費	692	625																								
手数料・運搬料等	111	286																								
部活動委託料	0	7,570																								
負担金等	1,010	518																								
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。																										
1 各学校の新しい教育課題に対応した校内研修・研究会への支援を充実させる。 2 各学校に配当された教材・教具、消耗備品の予算の適切で迅速な執行を行う。																										

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
<input checked="" type="radio"/> ① 整合性はある <input type="radio"/> ② 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
<input type="radio"/> ① 達成した <input checked="" type="radio"/> ② 概ね達成した <input type="radio"/> ③ 一部達成した <input type="radio"/> ④ ほとんど達成していない	
理由	各学校の教材・教具の整備等は、ほぼ予定どおり行えた。 部活動の委託料の執行については、これからも規約の細かな見直しを行う必要がある。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
<input type="radio"/> ① 改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ② ある程度改善の余地がある <input type="radio"/> ③ ほとんど改善の余地はない	
理由	校内研修については、実施回数や内容等にばらつきがある。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
1 中学校の部活動については、指導補助のために外部指導員を配置しているが、以前として教員の負担は大きく、小規模校では部活動の維持が難しくなっている。 2 校内研修は、各学校の特色を十分に尊重しつつも、学校間のばらつきはある程度、修正していく必要がある。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	保護者 内容 部活動を専門的に指導できる指導者の確保
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
1 各学校の新しい教育課題に対応した校内研修・研究会への支援を充実させる。 2 各学校に配当された教材・教具、消耗備品の予算の適切で迅速な執行を行う。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
各学校が教育活動を円滑に行えるよう、各学校の研修活動への支援、教材・教具の適切な整備に努める。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下秀夫
・小・中学校における教員の研究・実践を充実させ、円滑な学校運営を行うにふさわしい事業である。 ・継続して、各学校の研修内容の改善充実と部活動指導への工夫改善を目指していくこと。	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	環境教育推進・自然学校推進事業			事務事業番号	1041060
				担当課	学校教育課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成 長している	内線	3234
事務区分	自治事務	実施期間	平成3年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	学校教育法				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	1 環境体験事業 市立小学校第3学年全児童 2 自然学校推進事業 市立小学校第5学年全児童
	意図	1 体験型環境学習の実施 2 市立小学校5年生児童の100%近い参加
大きな目的	学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、さまざまな活動に取り組むことを通して、心身ともに調和のとれた児童の育成を図る。	
全体概要	1 県補助事業 環境体験事業・自然学校推進事業事業推進委員会へ事業委託 2 環境体験事業 (1)対象:公立小学校第3学年全児童 (2)内容:地域の自然に出かけて行き、地域の人々の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育などの五感を使って自然に触れ合う体験型学習を継続的に実施する。 (3)実施日数:3回以上 (4)対象地域:①里山, ②田や畑, ③水辺(川や海岸等), ④地域の自然 3 自然学校推進事業 (1)対象:公立小学校第5学年全児童 (2)利用施設:丹波少年自然の家・県立南但馬自然学校の2施設 (3)期間:4泊5日と事前・事後学習 (4)活動内容 自然観察・登山・星の観察・基地作り・野外炊事・テント泊・キャンプファイヤー等 (5)その他 指導補助員・救急員配置	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	8%	2,250	1,287		住民1人当たり(円)	166.90
	事業費	92%	14,285	14,652	13,788	1世帯あたり(円)	369.49
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	16,535	15,939	13,788	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費	42%	6,766	6,664	6,080		
	市債						
	その他						
	一般財源	58%	9,769	9,275	7,708		
	合計	100%	16,535	15,939	13,788		
活動 配分 (人)	職員	50%	0.20	0.10			
	嘱託・臨職等	50%		0.10			
	合計	100%	0.20	0.20			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	環境体験事業・自然学校推進事業推進
		委託内容等	環境体験事業・自然学校推進事業の事業を行う。
23年度目標	地域の自然に出かけて行き、地域の人々等の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育などの五感を使って自然にふれあう体験型環境学習を継続的に実施する。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
1 環境体験事業の達成状況 全小学校において里山, 田や畑, 水辺, 地域の自然等の環境における体験学習を年3回程度行った。参加人数: 第3学年児童790名			
(1) 芦屋川での環境体験学習 ① 上流から下流へと環境の変化に気づくことができた。 ② 継続して自然を観察することにより, 四季の変化や素晴らしさを実感できた。 ③ 指導員の説明を受け, 植物や生き物を観察し, 興味をもつことができた。			
(2) 海での環境体験学習: 芦屋川下流や潮芦屋浜ビーチにおいて, 海の生き物を観察し, 採集することができ, 楽しんで学習できた。			
(3) 森林での環境体験学習: 初夏や秋の森林の様子や草木の様子を観察することができた。			
2 自然学校推進事業の達成状況 参加人数: 第5学年児童807名。登山, 焼き板, 星空観察, キャンプファイヤー等, 自然学校だからこそできる体験ができた。 自然学校の事前学習として田植え・事後学習として稲刈りを計画して, 季節を感じるプログラムを体験できた。			
3 事業費内訳 推進事業委託料 14,323千円 準要保護家庭への扶助費 365千円 計 14,652千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
1 4泊5日が充実した自然学校になるようなプログラムを組んだ。			
2 4つの地域(里山, 田や畑, 水辺, 地域の自然)を意識して体験型環境学習を行った。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input type="radio"/> 達成した ② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない 芦屋の自然に目を向け, 体験型環境学習を行うことができた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 1 6年間を見通した連続性, テーマ性のある環境体験学習のカリキュラムを創造する。 2 保護者等に協力を依頼し, 円滑で安全に学習できるようにする。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
1 環境体験学習のカリキュラムについて, 各学校の特色にあったものを作り上げ, 継続的な指導を行うこと。 2 子どもたちの活動を充実させることのできる指導補助員・救急員を早期に確保すること。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
1 教室の冷暖房器具導入や節電の取り組みなど, 日常生活の省エネルギーに関する学習も行う。 2 環境学習における指導者の人材紹介, 自然学校の指導補助員・救急員の確保を早期に行う。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
1 環境体験事業において, 授業モデル案を紹介し, 授業の参考資料とする。 2 自然学校の指導補助員・救急員の募集時期を早め, 人材を確保する。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下 秀夫
・ 幼児児童生徒の自然への愛情や畏敬の念を育みながら, 集団生活への適応力を身につけていくために有効な事業である。	
・ 学校園の特色にあった計画のもと子どもたちの感性を育む事業を継続していくこと。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	トライやる・ウィーク推進事業			事務事業番号	1041070
				担当課	学校教育課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	内線	3235
事務区分	自治事務	実施期間	平成10年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	学校教育法				

2 事務事業の概要等

事務事業の目的 対象・意図	対象	市立中学校2年生
	意図	市立中学校2年生全員が指導ボランティアの支援のもと、地域での5日間の体験活動を実施する。
大きな目的	思春期にある中学生に、時間的、空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、「生きる力」の育成を図る。	
全体概要	1 県の補助事業 2 内容 (1)トライやるウィーク ①対象:市立中学校2年生全員 ②時期・期間:5月～6月 5日間 ③体験先:職場体験、福祉活動、芸術文化活動、幼児教育等を実施する市内各事業所 ④推進体制:推進委員会の設置・運営 ⑤指導:目的意識を明らかにする事前指導、その後の生活に活かす事後指導の実施 (2)トライやるアクション 市立中学校生徒のうち希望者が年間を通して休日等を活用し、地域交流イベントに参加するもの	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	34%	3,375	2,183		住民1人当たり(円)	66.84
	事業費	66%	4,201	4,200	4,200	1世帯あたり(円)	147.97
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	7,576	6,383	4,200	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費	33%	2,100	2,100	2,100		
	市債						
	その他						
	一般財源	67%	5,476	4,283	2,100		
	合計	100%	7,576	6,383	4,200		
活動 区分 (人)	職員	100%	0.30	0.20			
	嘱託・臨職等						
	合計	100%	0.30	0.20			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	各中学校区トライやる・ウィーク推進委員
		委託内容等	事業所の確保と連絡調整等, 各中学校区におけるトライやる・ウィークの推進
23年度目標	1 不登校生徒を含め市内公立中学校2年生全員の参加 2 市内事業所の増加と活動内容の多様化 3 トライやる・ウィーク後の地域との連携活動であるトライやるアクションの充実		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
1 生徒参加状況 精道中 113人 山手中 224人 潮見中 187人 (計524人, 参加率100%)			
2 事業所数 (1) 受入可能事業所 101ヶ所(前年度94ヶ所) (2) うち新規事業所 12ヶ所(中断後復活を含む) (3) 実際に生徒を受け入れた事業所 97ヶ所(前年度93ヶ所)			
3 活動内容 勤労生産活動, 職場体験活動, 文化芸術創作活動, ボランティア活動, 福祉活動			
4 トライやるアクション参加生徒数 精道中 488人 山手中 211人 潮見中 256人 (計955人)(前年度1,204人)			
5 事業決算内容 業務委託料 4,200千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。 校区推進委員会を中心とした事業所の新規開拓により生徒が選択できる活動分野が増加した。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 達成した ② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない 中学2年生の全員が参加した。受入可能事業所が前年度から7ヶ所増加した。すべての新規事業所に本事業の趣旨を訪問面談の上説明した。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 校区推進協議会に委託し会計報告を受けているが, 予算が有効に使われている。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
1 事業所への連絡調整をいねいに行っているが, それに伴い, 教職員の対応業務が増加している。 2 特別な支援を要する生徒の参加を支援するボランティアの確保が必要である。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	教職員
内容	特別支援対象生徒に関わるボランティアの確保
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
1 特別な支援を要する生徒へのボランティアを適切に配置する。 2 教員が指導業務に専念できるよう必要書式を市全体で簡略化または共有化する。 3 生徒が興味関心に応じて活動内容を選択しやすくなるように選択方法を工夫する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
校区推進委員会の活動に主体性を持たせ, 事業所の確保や趣旨の周知等のコーディネーター的な役割を強化する。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下秀夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校, 地域, 家庭の三者が連携しながら, 中学生にとって有効な体験の機会となり, 有意義な事業として継続している。 ・ 地域との連携により, 新規事業所による生徒の受け入れも継続されている。 ・ 目標・改善内容の方向性を明確に意識しながら, より充実を図っていくこと。 	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	読書活動推進事業			事務事業番号	1041025
				担当課	学校教育課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-1	子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成 長している	内線	3233
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	幼児、児童、生徒、市民 学校園、芦屋市立図書館、分室、公民館
	意図	幼児、児童、生徒が、継続的に読書に取り組み、本が好きになるように支援する。
大きな目的	「子どもの読書の街づくり推進事業」の成果と課題を踏まえた読書活動の充実に継続的に取り組み、自ら本 を手に取り、本が好きな子どもを育てる。	
全体概要	(1)読書活動の充実に継続的に取り組み、自ら本を手に取り、楽しんだり、活用したりする本が好きな子どもを育てる。 (2)学校図書館の環境整備を進め、学校図書館の活性化を図る。 (3)公立図書館と連携した教育活動を推進する。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	14%		4,971		住民1人当たり(円)	376.36
	事業費	86%		30,971	31,654	1世帯あたり(円)	833.19
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%		35,942	31,654	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費					平成22年度までは、子ども読書の街づく り推進事業として実施	
	市債						
	その他 一般財源	100%		35,942	31,654		
	合計	100%		35,942	31,654		
活動 配分 (人)	職員	80%		0.40			
	嘱託・臨職等	20%		0.10			
	合計	100%		0.50			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	委託先・指定管理者等	
	委託内容等	
23年度目標	1 学校図書館の図書の電算化を通して、学校図書館の環境整備を図る。 2 モデル校指定・チラシ配布・読書スタンプラリーの実施・読書月間の設定等を通して、読書活動の啓発を推進する。	
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください		
1 達成状況 (1)「おはなしノート」の配布(公立幼稚園年長児対象) (2)家読(うちどく)運動の推進を図るために春・秋の読書月間にチラシを配布した。 (3) 読書モデル指定校(2校) (4) 芦屋市立小学校全児童で読書スタンプラリーを実施した。(ゴール達成者 468人) (5)全小中学校の図書の電算化を行った。		
2 事業費(決算)内訳 (1) 読書ノート、読書推進モデル校講師 20千円 (2) 読書推進モデル校消耗品費 212千円 (3) スタンプラリー台紙・シール 1,613千円 (4) フックラック 390千円 (5) 図書費(幼・小・中) 15,339千円 (6) 司書補賃金 13,397千円		
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。		
1 学校図書館の電算化作業に向けて、古い本の廃棄、電算化作業、貸し出し作業を計画的に実施した。 2 学校図書館担当者や司書補を対象に、電算化後の操作研修や情報交換会を必要に応じて開催した。		

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した ② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない	
理由	1 読書スタンプラリーの実施や「図書リスト400選」・「おはなしノート」の配布等、読書活動の啓発を計画どおり実施した。 2 学校図書館の電算化をきっかけに、今後は蔵書冊数を満たすだけでなく、蔵書内容の充実に努めていく必要がある。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	電算化をきっかけに、より計画的に本の廃棄、新規購入を進めていくことが必要である。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
1 各教科の授業の中で、学校図書館を利用していき機会をより増やす工夫が必要である。 2 公立図書館との連携を強化していく必要がある。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
1 学校図書館の利用促進を図るため、学校図書館のさらなる環境整備に努める。 2 公立図書館との連携を深めるための合同研修会等を実施する。 3 図書ボランティアとの連携のもと、学校、家庭、地域が一体となった読書活動を推進する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
ブックワーム400選の一部改訂に向けた準備・検討を行う。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下秀夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の電算化に伴い、学習環境としての図書室の利用や委員会活動の充実を目指すこと。 ・ 児童・生徒の興味・関心を把握しながら、蔵書の充実を図り、環境整備と読書活動の推進を継続していくこと。 	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	特色ある学校園づくり支援事業			事務事業番号	1043030
				担当課	学校教育課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	北野 章
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	北野 章
	施策目標	4-3	学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育 成を支えている	内線	3243
事務区分	自治事務	実施期間	平成11年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	学校教育法				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	1 学校園 2 幼児児童生徒
	意図	1 地域(人材)の参画と協働により教育活動が活性化されること 2 開かれた学校園づくりが推進されること
大きな目的	各学校園が、幼児児童生徒や地域の特性に応じた教育目標・教育計画を明確にし、特色ある教育活動を展開することを支援する	
全体概要	1 教育課程の承認事務 2 学校評議員制度の推進 3 学校評価・学習評価の実施 4 教育ボランティアの派遣(以下事例) (1) 中学校: 福祉体験学習の講師招聘、部活動の指導、進路指導キャリア講師招聘等 (2) 小学校: 食育学習(うどん打ち名人)、修学旅行先での平和学習で語り部を迎える等 (3) 幼稚園: クリスマス会でのサンタ役を外国人に依頼、伝統的な文化に触れる体験遊び、ベル演奏等 5 各学校の学習指導の充実を図るための研修会や研究会の参加費・講師謝金に係る執行調整 6 新学習システムの推進による教科指導の充実	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	41%	3,375	1,039		住民1人当たり(円)	26.74
	事業費	59%	1,524	1,515	1,912	1世帯あたり(円)	59.21
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	4,899	2,554	1,912	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	4,899	2,554	1,912			
合計	100%	4,899	2,554	1,912			
活動 区分 (人)	職員	100%	0.30	0.10			
	嘱託・臨職等						
合計	100%	0.30	0.10				

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等
		委託内容等
23年度目標	1 学校園がそれぞれの教育課題に応じた、特色ある教育活動が展開できるよう支援する。 2 各学校園で学校評価の実施をし、その結果を自校の教育活動の改善に生かしていく。	
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください		
1 すべての学校園で、教育ボランティアを有効に活用し、特色ある教育活動を行った。		
①活動人数 延べ 662人 ②経費 教育ボランティア報償費 1,303千円 学生ボランティア旅費 100千円 外部指導者傷害保険料 95千円 カヌー使用料 17千円		
2 学校評価は、学校関係者評価も含めて、すべての学校園で実施し、その結果を教育委員会のHPの中で公開した。		
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください。		
学校園において、「学校自己評価」と「学校関係者評価」の項目の見直しを継続して実施し、内容の充実に努めた。		

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	各学校園が、当初の教育計画に基づき、ボランティアや地域人材を有効活用し、教育内容の充実や活動の活性化を図った。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	様々なボランティアが学校園の支援のために活動しているが、それぞれの活動を整理していく必要がある。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
学校園のニーズに応じた指導者を確保するためにも、ボランティアの人材バンクなどの制度の導入についても研究していく必要がある。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	市民
内容	教育ボランティアとして活動したい。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
学校内で活動する様々な外部指導者や教育ボランティアの活動状況を整理するとともに、市民のニーズと学校のニーズとをつないでいく人材バンク制度や、より有効なボランティアの活用の方についても研究する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
学校園の教育情報ネットワークを利用するなどして、外部指導者や教育ボランティアの人材バンク制度構築に向けた研究をする。	

7 部長の2次評価

部名	学校教育部
部長名	丹下秀夫
・ 地域人材と連携した取組は、学校の活性化に有効であり、継続して実施していく必要がある。 ・ 目標・改善内容への到達に向けて、市内学校園の取組みをより細かく交流しながら、改善充実を図っていくこと。	
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋市後援名義許可(文化・スポーツ)			事務事業番号	1021350
				担当課	市民参画課
総合計 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	福島 貴美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	福島 貴美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	2123
事務区分	自治事務	実施期間	平成1年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市の後援名義の使用許可に関する要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	市民及び芦屋市の関係者
	意図	文化・スポーツ事業等を奨励し、市民の芸術文化活動への参加機運を高める。
大きな目的	市民主体の文化・スポーツ等の振興を奨励	
全体概要	□申請のあった団体に対してその団体の性格や申請した事業内容を十分審査し、芦屋市の後援名義の使用承認を発行することにより、市民の芸術文化活動を支援する。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	100%	1,498	2,415		住民1人当たり(円)	25.29
	事業費					1世帯あたり(円)	55.98
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	1,498	2,415		平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	1,498	2,415			
	合計	100%	1,498	2,415			
活動 区分 (人)	職員	27%	0.15	0.15			
	嘱託・臨職等	73%	0.10	0.40			
	合計	100%	0.25	0.55			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	後援名義の許可を慎重にするため要綱を改正したい。		
<p>(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください 学術, 文化, スポーツ, 福祉に関する事業を奨励し推進するため後援名義許可・承認を出し, 市民の芸術文化活動への参加機運を高める。 後援名義使用許可・承認件数 90件</p>			
<p>(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。 平成23年9月から要綱を改正した。</p>			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> ① 整合性はある <input type="radio"/> ② 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input checked="" type="radio"/> ① 達成した <input type="radio"/> ② 概ね達成した <input type="radio"/> ③ 一部達成した <input type="radio"/> ④ ほとんど達成していない 後援名義申請許可・承認により, 市民の芸術文化活動への参加機運を高めた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> ① 改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ② ある程度改善の余地がある <input type="radio"/> ③ ほとんど改善の余地はない 後援名義申請承認については, 要綱を改正し, 慎重に処理するように変更した。 書類審査以外での事業について情報収集の必要性がある。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題 書類審査以外での事業について情報収集の必要性がある。		
(2) 市民, 関係者からの要望等		
誰から	後援名義申請団体	内容 所管課で後援名義申請を受け取って欲しい。
(3) 平成24年度の目標・改善内容 関係する部署との情報交換を密にしていく。		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性 関係する部署との情報交換を密にしていく。		

7 部長の2次評価

部名	市民生活部
部長名	北川加津美
承認を慎重かつ適切に行うために, 書類の内容以外で, 申請事業について関係する部署と情報交換を密にしていくことは適切である。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	教育委員会その他一般事務			事務事業番号	4142230
				担当課	教育委員会管理課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	4	人々と行政のつながりをまちづくりにつなげる	課長名	萩原 裕子
	目標とする10年 後の芦屋の姿	14	信頼関係の下で市政が展開している	記入者名	萩原 裕子
	施策目標	14-2	変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	内線	3201
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	児童, 生徒, 教職員, 事務局職員
	意図	教育行政の円滑な運営の補助
大きな目的	教育行政の円滑な運営に資する	
全体概要	教育委員会事務局内での一般管理及び維持管理費等の支払い事務ほか	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	62%	18,913	5,835		住民1人当たり(円)	98.66
	事業費	38%	6,731	3,587	4,680	1世帯あたり(円)	218.42
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	25,644	9,422	4,680	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	25,644	9,422	4,680			
合計	100%	25,644	9,422	4,680			
活動分 (人)	職員	100%	1.90	0.96			
	嘱託・臨職等						
合計	100%	1.90	0.96				

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	裏紙使用、竜面印刷等を徹底して、ゼロックス使用量の削減に努める。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
需用費(小中学校就学通知書印刷費、参考図書費、新聞代、事務用品等) 1,396千円 使用料・賃借料(ゼロックス使用料、通行料等) 1,123千円 その他 1,068千円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			
特になし			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない
※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	教育行政の円滑な運営に寄与している。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	引続き、経費節減に努める。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題		部名	教委管理部
		部長名	山口 謙次
		教育行政の円滑な運営に資するために有効であり、引き続き経費節減に取り組むことは適切である。	
(2) 市民、関係者からの要望等			
誰から	内容		
(3) 平成24年度の目標・改善内容			
裏紙使用、両面印刷等を徹底して、ゼロックス使用量の削減に努める。			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性			
裏紙使用、両面印刷等を徹底して、ゼロックス使用量の削減に努める。		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	財産区に関する事務			事務事業番号	4151060
				担当課	用地管財課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	4	人々と行政のつながりをまちづくりにつなげる	課長名	朝生充治
	目標とする10年 後の芦屋の姿	15	経営資源を有効に活用し、健全な財政状況に なっている	記入者名	朝生充治
	施策目標	15-1	様々な資源を有効に活用している	内線	2231
事務区分	自治事務	実施期間	昭和22年度～	会計区分	特別会計
根拠法令等	芦屋市附属機関の設置に関する条例, 芦屋市打出・芦屋財産区共有財産管理委員会規則				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	
	意図	打出芦屋及び三条津知財産区共有財産の管理運営。
大きな目的	財産区財産(共有地等)の適切な維持管理により、財産区民及び市民の福祉を向上させる	
全体概要	<input type="checkbox"/> 財産区共有地の維持管理 <input type="checkbox"/> 財産区共有地の貸付 <input type="checkbox"/> 財産区管理委員会の開催	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	36%	2,758	2,236		住民1人当たり(円)	64.27
	事業費	64%	5,550	3,902	10,100	1世帯あたり(円)	142.29
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	8,308	6,138	10,100	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	8,308	6,138	10,100		
	合計	100%	8,308	6,138	10,100		
活動 配分 (人)	職員	50%	0.25	0.20			
	嘱託・臨職等	50%		0.20			
	合計	100%	0.25	0.40			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	市内登録の造園会社
		委託内容等	共有地の除草・剪定業務及び管理業務
23年度目標	<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区の積立金の運用及び財産区共有地の視察 <input type="checkbox"/> 三条津知財産区の積立金の運用		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区共有財産管理委員会開催状況 第1回委員会 平成23年6月3日(金) ・平成22年度財産区会計決算見込みについて ・平成22年度山車維持管理費助成金交付申請について 第2回委員会 平成23年10月28日(金) ・六甲砂防への土地譲渡について(諮問) ・平成24年度財産区会計予算(案)について 第3回委員会 平成24年2月1日(水) ・委員委嘱式 <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区管理委員会開催状況 ●三条財産区 平成21年 5月8日(日) ・平成22年度三条津知財産区会計決算見込み ・23年度予算の説明 ●津知財産区 平成21年 6月18日(土) ・平成22年度三条津知財産区会計決算見込み ・23年度予算の説明			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区 ・歳計外積立金の活用策として, 引き続き, 芦屋市土地開発公社への貸付を行った。7,000万円・年0.03% <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
<input checked="" type="radio"/> 整合性はある <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
<input type="radio"/> 達成した <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した <input type="radio"/> 一部達成した <input type="radio"/> ほとんど達成していない	
理由	<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区 ・歳計外積立金の活用策として, 引き続き, 芦屋市土地開発公社への貸付を行った。7,000万円・年0.03% <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
<input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区 歳入23,990千円 > 歳出2,676千円 歳入で経費が賅えている。 <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区 歳入 4,848千円 > 歳出 1,226千円 歳入で経費が賅えている。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題		
(2) 市民, 関係者からの要望等		
誰から		内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区 ・積立金の運用 ・先進財産区の行政視察 <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区 ・積立金の運用		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		
<input type="checkbox"/> 打出・芦屋財産区 ・積立金の活用 <input type="checkbox"/> 三条・津知財産区 ・特記事項なし		

7 部長の2次評価

部名	総務部
部長名	佐藤 徳治
市民の財産を保全するため財産区共有財産の管理は, 必要な事務であり有効である。 財産区の性格上, 共有地の管理業務の遂行が前提となるが, 積立金の安全確実な運用や活用方法について調査研究することは, 目標・改善・方向性としては, 適切である。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	ルナ・ホール事業費			事務事業番号	1021090
				担当課	市民センター
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	高田 浩志
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	高田 浩志
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	91-504
事務区分	自治事務	実施期間	平成18年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	市民センター運営条例 市民センター運営条例施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	音楽コンサート、落語、映画等の芸術鑑賞者
	意図	市民文化の振興を図ることを目的として、音楽コンサート、落語、映画会等鑑賞の場を提供する。
大きな目的	市民文化の振興	
全体概要	□ルナ・ホールを利用して、発表及び鑑賞の場を提供する。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	40%	9,071	8,551		住民1人当たり(円)	226.02
	事業費	60%	9,968	13,034	12,469	1世帯あたり(円)	500.37
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	19,039	21,585	12,469	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	26%	4,692	5,510	7,300		
	一般財源	74%	14,347	16,075	5,169		
合計	100%	19,039	21,585	12,469			
活動 配分 (人)	職員	77%	1.00	1.00			
	嘱託・臨職等	23%	0.30	0.30			
	合計	100%	1.30	1.30			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	ルナ・ホール事業を活性化するため、東日本大震災に伴うチャリティ事業や新たな企画事業を積極的に実施する。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
ホール事業	入場者数		
落語 2回	886人		
大野雄二トリオ「LUPIN JAZZ LIVE」	308人		
夏休みファミリーミュージカル「白雪姫」	259人		
市原悦子トークショー	367人		
第十六回 芦屋能・狂言鑑賞の会	621人		
あしやティアフル映画祭	514人		
第2回芦屋文学検定	316人		
いきいきシネマサロン 5回	2,912人		
平成23年東北地方太平洋沖地震災害義援金チャリティーコンサート	451人		
Being II 東日本大震災支援チャリティーコンサート	514人		
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
東日本大震災に伴うチャリティ事業を行ない、被災地に義援金を送ることができた。 新たな企画事業を行なうことができた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	より多くの集客を図るため、市民のニーズの把握・PRの方法等に検討の余地がある。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
ルナ・ホール事業は、市民に対し文化事業を提供する以外に、自分の活動を市の事業として取り上げてもらいたいという需要がある。しかし、その選択を市民の見たい聴きたいという需要を勘案しながら公平に行うことは難しいことである。平成24年度から民間事業者に委託したが、市は委託者として格段の配慮を行う必要がある。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	市民から、事業企画会社から
内容	自分の関係する企画をルナ・ホール事業として実施してほしい。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
平成24年度から26年度までは民間活力導入による業務委託の実施。その実施状況を検証しながら、指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本賢史
東北地方太平洋沖地震災害義援金チャリティーコンサートなど、緊急に開催した企画にも柔軟に対応し、成果を収めたと評価します。 市民を対象としたホール事業であることからニーズの把握とともに、行政としての考え方も明確にして継続実施する必要があると考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	文化財保護及び啓発事業			事務事業番号	1021250
				担当課	生涯学習課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	長岡 一美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3261
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	文化財保護法 芦屋市文化財保護条例				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	全市民
	意図	市内文化財の保存及び活用が良好な状態にあり、広報、啓発活動が有効に実施されている。
大きな目的	市内文化財の歴史的・学術的な意義を明らかにしていくことで、 市民の地域に対する愛着を高めるとともに後世にも伝承していく。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 啓発事業(講座、パンフ印刷) <input type="checkbox"/> 既存遺跡等維持管理 <input type="checkbox"/> 指定文化財等支援・助成 <input type="checkbox"/> 会下山遺跡整備事業 <input type="checkbox"/> 整理業務及び啓発事業のデジタル化 <input type="checkbox"/> 地図情報の活用 <input type="checkbox"/> ふるさと雇用再生事業 <input type="checkbox"/> 緊急雇用創出事業	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	63%	13,824	27,843		住民1人当たり(円)	461.56
	事業費	37%	8,658	16,236	6,242	1世帯あたり(円)	1,021.81
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	22,482	44,079	6,242	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	22,482	44,079	6,242		
	合計	100%	22,482	44,079	6,242		
活動 区分 (人)	職員	25%	1.75	1.60			
	嘱託・臨職等	75%	1.00	4.76			
	合計	100%	2.75	6.36			

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	海外諸都市との交流事業の促進			事務事業番号	1022010
				担当課	市民参画課(国際交流担当)
総合計画 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	阪元 靖司
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	阪元 靖司
	施策目標	2-2	様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	内線	2772
事務区分	自治事務	実施期間	昭和36年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	モンテペロ市と芦屋市との間の姉妹都市提携に関する盟約 他				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民(交流の担い手は市民一人ひとりであり、その交流が市民にとって誇りと愛着を感じられ、そして国際友好親善に寄与する。)
	意図	市民の国際感覚と国際理解の醸成。
大きな目的	姉妹都市を含め海外諸都市との交流を深めることによって、国際化に対応した人づくりを目指す。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 姉妹都市との学生親善使節事業 <input type="checkbox"/> 姉妹都市提携事業5周年ごとの両市民の相互訪問(市民レベル) <input type="checkbox"/> 海外諸都市への訪問と来芦者との交流(その他海外諸都市との交流事業)	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	78%	4,142	6,693		住民1人当たり(円)	90.16
	事業費	22%	874	1,917	900	1世帯あたり(円)	199.59
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	5,016	8,610	900	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	5,016	8,610	900		
	合計	100%	5,016	8,610	900		
活動 区分 (人)	職員	75%	0.40	0.60			
	嘱託・臨職等	25%	0.10	0.20			
	合計	100%	0.50	0.80			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	NPO法人芦屋市国際交流協会
		委託内容等	姉妹都市交流事業
23年度目標	ホームページ等の利用により, 姉妹都市交流についてより多くの市民への周知に努める。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 姉妹都市への交換学生派遣事業(8/8~8/30, 派遣2名, 委託料456千円) <input type="checkbox"/> 姉妹都市提携50周年記念事業(訪問: 7/13~7/19, 経費790千円, 受入: 11/11~11/17, 経費671千円)			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
姉妹都市提携50周年事業開催時に市役所正面玄関付近の掲示板に姉妹都市関連のものを掲示し, また, 潮芦屋交流センター前の市道に「モンテペロ通り」という愛称を命名し, 姉妹都市交流についてより多くの市民への周知に努めた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	モンテペロとの学生親善使節交流の内容については毎回のよう改善している。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題 姉妹都市交流について, 幅広い市民レベルへの周知が必要		部名	市民生活部
		部長名	北川 加津美
		姉妹都市交流についてより多くの市民への周知に努める方向性は, 国際交流事業を促進する上で適切である。	
(2) 市民, 関係者からの要望等			
誰から	市民	内容	芦屋市とモンテペロ市とが姉妹都市交流を結んでいることをもっと広く市民に周知してほしい
(3) 平成24年度の目標・改善内容			
ホームページ等の利用により, 姉妹都市交流についてより多くの市民への周知に努める。			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性			
ホームページ等の利用により, 姉妹都市交流についてより多くの市民への周知に努める。			
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	国際交流一般・支援事業			事務事業番号	1022020
				担当課	市民参画課(国際交流担当)
総合計画 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	阪元 靖司
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	阪元 靖司
	施策目標	2-2	様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	内線	2772
事務区分	自治事務	実施期間	平成5年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業の目的 対象・意図	対象	市民
	意図	潮芦屋交流センターに関すること及び外国語のインフォメーションすることにより、国際交流の核が機能し外国人が暮らしやすいまちを目指す。
大きな目的	国際化に対応したまちづくり	
全体概要	<input type="checkbox"/> 潮芦屋交流センター施設運営等経費 <input type="checkbox"/> 英語版広報紙「アシヤニューズレター」の発行 <input type="checkbox"/> 外国語(英語等)公用文翻訳	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	30%	12,181	11,859		住民1人当たり(円)	408.24
	事業費	70%	4,177	27,128	30,264	1世帯あたり(円)	903.77
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	16,358	38,987	30,264	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他	17%		6,770	200		
	一般財源	83%	16,358	32,217	30,064		
合計	100%	16,358	38,987	30,264			
活動分 (人)	職員	63%	1.00	1.00			
	嘱託・臨職等	38%	0.90	0.60			
	合計	100%	1.90	1.60			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	NPO法人芦屋市国際交流協会等
		委託内容等	英語版広報紙作成業務委託, 公用文翻訳業務委託
23年度目標	「芦屋市の国際交流のあり方」の提言を尊重し, 外国人の行政情報のアクセスの容易さを確保するため, 外国語での情報提供に努める。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 英語版広報紙「アシヤニューズレター」の発行(年4回発行, 業務委託料571千円) <input type="checkbox"/> 外国語(英語等)公用文翻訳(業務委託料316千円) <input type="checkbox"/> 英語版防災情報マップの発行(業務委託料299千円) <input type="checkbox"/> 指定管理料(25,400千円)			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
英語版防災情報マップの発行をし, 日本語が読めない外国人に防災知識の普及に努めた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> ① 整合性はある <input type="radio"/> ② 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input type="radio"/> ① 達成した <input checked="" type="radio"/> ② 概ね達成した <input type="radio"/> ③ 一部達成した <input type="radio"/> ④ ほとんど達成していない
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> ① 改善の余地がある <input type="radio"/> ② ある程度改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ③ ほとんど改善の余地はない

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題		部名	市民生活部
「芦屋市の国際交流のあり方」の提言を尊重し, 外国人の行政情報のアクセスの容易さを確保するため, 外国語での情報提供に努める。		部長名	北川 加津美
(2) 市民, 関係者からの要望等		外国人への情報提供の浸透を図ることが必要であることから, 現行の取り組みを継続することが, 適切である。	
誰から	市民	内容	英語版生活ガイドブックの発行を要望
(3) 平成24年度の目標・改善内容			
「芦屋市の国際交流のあり方」の提言を尊重し, 外国人の行政情報のアクセスの容易さを確保するため, 外国語での情報提供に努める。また, 潮芦屋交流センターの利用案内等を市民に周知し, 利用率を伸ばしたい。そのために周知方法について検討したい。			
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	
「芦屋市の国際交流のあり方」の提言を尊重し, 外国人の行政情報のアクセスの容易さを確保するため, 外国語での情報提供に努める。また, 潮芦屋交流センターの利用案内等を市民に周知し, 利用率を伸ばしたい。そのために周知方法について検討したい。			

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋さくらまつりの開催			事務事業番号	1012030
				担当課	市民参画課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	福島 貴美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	福島 貴美
	施策目標	1-2	市民が主体となった活動が増え、継続的に発展し ている	内線	2123
事務区分	自治事務	実施期間	昭和63年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	芦屋市民
	意図	コミュニティの活性化, ふるさとづくり
大きな目的	コミュニティの推進	
全体概要	□芦屋さくらまつり(4月第1土曜日・日曜日)	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	84%	3,259	4,208		住民1人当たり(円)	52.66
	事業費	16%	3,994	821	2,015	1世帯あたり(円)	116.58
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	7,253	5,029	2,015	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	7,253	5,029	2,015			
合計	100%	7,253	5,029	2,015			
活動 配分 (人)	職員	100%	0.30	0.60			
	嘱託・臨職等		0.20				
	合計	100%	0.50	0.60			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	補助	委託先・指定管理者等	芦屋さくらまつり協議会
		委託内容等	会場設営、会場周辺警備費並びに清掃費
23年度目標	東日本大震災被災地支援を目的として募金を行い、安全で安心して参加できるさくらまつりを開催した。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください			
「第23回芦屋さくらまつり」がんばれ 東北 ～東日本大震災被災地支援～への支援・協力 期間:平成23年4月2日(土)～4月3日(日) 場所:芦屋川東側沿道(大正橋～業平橋) 内容:義援金 募集614,031円 参加人数:延べ2,500人 応援職員:延べ51人 人件費概算512,102円			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください。			
東日本大震災被災地支援の募金活動を行った。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない
※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	東日本大震災被災地支援を目的として募金を行い、安全で安心して参加できるさくらまつりを開催した。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	今回は、例年とは異なる芦屋さくらまつりであったが、会場の清掃のボランティアも参加し、東日本大震災被災地支援を目的とする募金活動を行うことが出来た。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
安全面の確保から現在の参加規模を維持したい。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	芦屋警察
内容	まつりの参加者の多くが会場にずっととどまらないよう誘導すること。
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
芦屋さくらまつりは、子どもを含む幅広い世代が安心して参加し、楽しんでいる現状を安全面を配慮しつつ維持する。トイレなどの案内表示に、英語表記を入れる。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
規模については、現状を維持する方向	

7 部長の2次評価

部名	市民生活部
部長名	北川加津美
市民に定着した芦屋さくらまつりを楽しんでいただくために安全面を配慮しつつ継続することは適切である。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 6 月 27 日 現在

事務事業名	あしや秋まつり			事務事業番号	1012040
				担当課	経済課
総合計画 基本策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	越智 恭宏
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	越智 恭宏
	施策目標	1-2	市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	内線	97-2505
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	芦屋市民
	意図	コミュニティの推進, ふるさとづくりの推進
大きな目的	コミュニティの推進	
全体概要	あしや秋まつり(10月15日の直近の日曜日)	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	51%	2,435	2,608		住民1人当たり(円)	53.50
	事業費	49%	2,599	2,501	2,510	1世帯あたり(円)	118.43
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	5,034	5,109	2,510	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	5,034	5,109	2,510		
	合計	100%	5,034	5,109	2,510		
活動 配分 (人)	職員	61%	0.25	0.23			
	嘱託・臨職等	39%		0.15			
	合計	100%	0.25	0.38			

4 平成23年度の実施内容

実施区分		委託先・指定管理者等	(有)ユーズ
		委託内容等	まつり会場の設営他
23年度目標	警察及び警備会社との連携を図り、安全なまつり運営が行なえるよう支援する		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
ーがんばろう日本ー第23回あしや秋まつりへの支援・協力(補助金 2,000千円)			
日時:平成23年10月9日(日) 場所:芦屋市立精道小学校グラウンド 内容:緑日・イベント・だんじり練り回し・東日本大震災復興支援パネル展示 他 参加人数:延べ5,500人 義援金:5,053円 (会場設備等業務委託料:499千円)			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
イベント内容を見直してより魅力的な事業にした			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した ② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない	
理由	警察及び警備会社との連携を図り、けが人もなく安全にまつり運営が出来た。また東日本大震災復興支援パネル展示や義援金の設置を行い震災復興支援を実施。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	より一層の協議会構成団体の自主的な運営

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
参加人数が固定化しており、イベント内容の見直しも必要	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
警察及び警備会社との連携を図り、安全なまつり運営を図るとともに、より一層自主的な運営が図れるようあしや秋まつり協議会を支援する	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
市民のコミュニティつくりの場として、より多くの参加者が楽しめるまつりなるよう支援する	

7 部長の2次評価

部名	市民生活部
部長名	北川加津美
市民は、まつりを楽しみにしておられ、まつりの運営にも多くの市民の方に携わっていただいております。安全なまつりの運営を図りながら、協議会への支援を継続することは適切である。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 6 月 27 日 現在

事務事業名	観光事業			事務事業番号	3133030
				担当課	経済課
総合計 基本策 計画 体系 画面系	まちづくりの 基本方針	3	人々のまちを大切にする心や暮らし方をまちなみにつなげる	課長名	越智 恭宏
	目標とする10年 後の芦屋の姿	13	充実した住宅都市の機能が快適な暮らしを支えている	記入者名	越智 恭宏
	施策目標	13-3	市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	内線	97-2505
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	市民
	意図	山まつり等観光事業の実施及び観光施設整備、観光情報の発信を行い、本市への集客を図る。
大きな目的	芦屋のイメージを高め、市内商業の活性化と振興を図る。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 山まつり、菊花展(隔年開催)、さつき展、クリーンハイキングの実施 <input type="checkbox"/> 観光用公衆便所の維持管理、奥山堰堤ごみ回収事業 <input type="checkbox"/> ハイキングコースの維持、補修 <input type="checkbox"/> ひょうごツーリズム協会、芦屋観光協会との連携による情報発信、及び観光宣伝事業の実施 <input type="checkbox"/> タウン紙等への情報提供による観光PR	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	32%	5,108	5,313		住民1人当たり(円)	172.29
	事業費	68%	1,841	11,141	3,229	1世帯あたり(円)	381.43
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	6,949	16,454	3,229	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費	54%		8,822			
	市債						
	その他						
	一般財源	46%	6,949	7,632	3,229		
	合計	100%	6,949	16,454	3,229		
活動 区分 (人)	職員	69%	0.53	0.55			
	嘱託・臨職等	31%	0.27	0.25			
	合計	100%	0.80	0.80			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	(株)パスコ
		委託内容等	案内マップ作成
23年度目標	緊急雇用就業機会創出基金事業補助を活用した市内案内マップ改訂版の作成		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
○イベントの実施支援 ・あしや山まつり (雨天のため中止) (155千円) ・さつき展 5月23日から6月3日まで (160千円) ・菊花展 10月29日から11月10日まで (60千円) ○高座滝第1・2公衆便所維持管理及び奥池あそびの広場トイレ無料化 (616千円) ○ハイキングコース等整備(道標等作成・修理) (736千円) ○補助金・負担金 (415千円) ○芦屋市案内マップ作成 (8,822千円) ○観光関係団体との連携による観光情報の発信(ひょうごツーリズム協会, 芦屋観光協会) ○タウン誌等への情報提供PR ○その他経費(40千円)			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
・市内案内マップ改訂版を英語版もあわせて作成 ・ハイキングコースの道標及び案内板等のローマ字を標記した改修整備 ・奥池あそびの広場トイレの無料開放			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した	② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	市内案内マップ改訂版を英語版もあわせて作成するとともに, ローマ字を標記した道標等の改修整備を実施
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない
理由	観光資源の掘り起こし

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
・観光資源の掘り起こしと継続した集客事業を実施していくための民間との協力体制	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
・安全性を高めるため, わかりやすいハイキングコースの道標等の整備	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
・豊かな自然や文化環境など芦屋の特長を活かした観光の取組み ・計画的な道標等の改修整備	

7 部長の2次評価

部名	市民生活部
部長名	北川加津美
豊かな自然や文化環境など芦屋の特長を活かした観光の取組みを方向性とすることは適切である。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋サマーカーニバルの開催			事務事業番号	1012035
				担当課	公園緑地課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	榎田忠夫
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	榎田忠夫
	施策目標	1-2	市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	内線	2842
事務区分	自治事務	実施期間	昭和63年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	芦屋市民
	意図	コミュニティの推進, ふるさとづくりの推進
大きな目的	コミュニティの推進	
全体概要	芦屋サマーカーニバル(開催日 平成23年度は7月23日(土)予定)	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	76%		6,242		住民1人当たり(円)	86.30
	事業費	24%		2,000	2,013	1世帯あたり(円)	191.06
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%		8,242	2,013	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%		8,242	2,013			
合計	100%		8,242	2,013			
活動 配分 (人)	職員	53%		0.55			
	嘱託・臨職等	47%		0.48			
	合計	100%		1.03			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	補助	委託先・指定管理者等	建築業者
		委託内容等	仮設トイレの設営等
23年度目標	イベントを通して参加者をはじめとした市民間のコミュニティづくりを支援する。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 第33回芦屋サマーカーニバルへの援助・協力(補助金 1,500千円) 期間: 平成23年7月23日(土) 場所: 南芦屋浜地区(潮芦屋ビーチ周辺, 潮芦屋緑地, 芦屋市総合公園) 内容: 花火大会, 縁日, イベント等(ドラゴンボートレース大会は7月31日開催) 参加人数: 約98,500人(花火大会) <input type="checkbox"/> 仮設トイレ等の業務委託料他(499,8千円)			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。			
東日本大震災に警察官が派遣された状況で、兵庫県警から警察官の配置が減少したため、事業計画や警備計画の見直しを行い、警備員の増員など配置計画の改善をおこなった。また、バス路線の一方通行かなどを行い歩行者の帰路の確保を優先し事故を防ぎ安全なまつりを開催した。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	民間が主催である芦屋サマーカーニバルは、補助金支出に加えて、事故を防ぐため30名の市職員が、警備補助として応援し開催した。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	芦屋サマーカーニバルは、警備計画, まつりの内容, 予算計画に改善の余地があると思われる。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
民間主催のイベントに対し、市がどこまで責任を持って支援するのかを定める必要がある。他市の例でもあるように、主催でなくても、責任は問われる。現状でも市の名義を使用することにより、開催できている部分があるので、検討が必要である。	
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	周辺住民
内容	花火の際の火の粉の危険性回避 住宅地に群集が侵入しない警備計画の充実
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
警備員の配置及び人員の適正配置を行う。 総合公園内の一部において、芝生が劣化しており、その回復措置のため、サマーカーニバルにおける公園施設の使用範囲を制限する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
公園管理者の立場として、常時市民に開放している施設において、維持補修・植栽管理等により使用を制限する必要がある。このような場合においては、施設管理の観点からも主催者に協力を求めていく。	

7 部長の2次評価

部名	都市環境部
部長名	北田恵三
会場となっている総合公園は、市民が利用する公園施設であり、施設の維持管理を基本に考える必要があることから、場合によっては、施設管理上の観点において、イベント等の規模などを再考する必要もある。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	まちの景観形成に関する事務			事務事業番号	3102020
				担当課	都市計画課 (まちづくり・開発指導担)
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	3	人々のまちを大切にする心や暮らし方をまちなみにつなげる	課長名	東実
	目標とする10年 後の芦屋の姿	10	花と緑に彩られた美しいまちなみが自然と調和している	記入者名	東実
	施策目標	10-2	建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	内線	2931
事務区分	自治事務	実施期間	平成8年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市都市景観条例, 景観法				

2 事務事業の概要等

事務事業の 対象・意図	対象	市民
意図	大規模建築物等の届出や条例による景観地区内の届出において、適切な助言・指導により、市民や事業者等に景観上の創意工夫について協力を得て、まち並み景観の向上を図る。平成20年度からは、景観法による景観地区の都市計画を決定し、協議型の景観誘導を維持し、認定制度により、景観指導の実効性を高める。	
大きな目的	美しい都市景観の保全, 育成	
全体概要	<input type="checkbox"/> 芦屋市都市景観条例による景観誘導(H8～H21.7) ・大規模建築物届出制度による助言や指導 ・景観アドバイザー会議における助言や指導 <input type="checkbox"/> 上記の景観誘導の実効性を高めるため景観法に基づく景観地区制度の導入(H21.7～) ・大規模建築物届出制度の景観基準を継承する。 ・アドバイザー会議による協議型景観誘導を維持し、認定制度により実効性を高める。 <input type="checkbox"/> 特別景観地区の指定 ・芦屋川沿岸地域, 南芦屋浜地域に現在の優れた景観の保全や創造を行うため地域性に応じた景観地区を指定する。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	51%	6,568	11,452		住民1人当たり(円)	236.02
	事業費	49%	906	11,088	4,715	1世帯あたり(円)	522.51
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	7,474	22,540	4,715	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費					「景観地区の指定に関する事務」のH23決算額については、当該事務に統合	
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	7,474	22,540	4,715		
	合計	100%	7,474	22,540	4,715		
活動 区分 (人)	職員	86%	0.80	1.60			
	嘱託・臨職等	14%		0.25			
	合計	100%	0.80	1.85			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	(株)パスコ, (株)都市・計画・設計研究所
		委託内容等	台帳システムの構築, 景観計画策定等
23年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー会議と認定審査会の更なる円滑で効果的な運営を図る ・GIS台帳の構築 		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<ul style="list-style-type: none"> ・都市景観審議会 開催回数 2回 ・都市景観アドバイザー会議 開催回数 9回 助言・指導件数 20件 ・景観認定審査会 開催回数 9回 審議件数 12件 報酬・旅費費用弁償・需用費 1,011千円 ・大規模建築物等景観協議届出書 届出件数 16件 ・景観地区内における建築物の計画の認定申請書 <ul style="list-style-type: none"> 大規模建築物 申請件数 19件 その他の建築物 申請件数 327件 工作物 申請件数 11件 ・芦屋市景観計画策定業務委託(株)都市・計画・設計研究所 委託料 4,179千円 ・芦屋川特別景観地区パンフレット等作成業務委託(株)都市・計画・設計研究所 委託料 997千円 ・建築行政総合支援システム構築業務委託(株)パスコ 委託料 4,599千円 ・その他 負担金・需用費・使用料等 302千円 			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
認定審査会の円滑な運営を図るため, 会議前の現地視察や, アドバイザー会議結果報告を行うなどの改善を図った。 アドバイザー会議の有効性を高めるため, 協議前の委員説明, 会議後の配慮方針のまとめ方の改善を図った。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> ① 整合性はある <input type="radio"/> ② 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input type="radio"/> ① 達成した <input checked="" type="radio"/> ② 概ね達成した <input type="radio"/> ③ 一部達成した <input type="radio"/> ④ ほとんど達成していない アドバイザー会議と認定審査会の円滑な運営に努め, 改善を図った。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> ① 改善の余地がある <input type="radio"/> ② ある程度改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ③ ほとんど改善の余地はない 必要経費以外の経費をほとんど使用していないため。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・明確で透明性のある認定制度の運用 ・申請件数増加に伴う事務の効率化 ・附属機関の開催に伴う事務の効率化 	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	なし
内容	
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー会議と認定審査会の更なる円滑で効果的な運営を図る ・GIS台帳構築による事務の効率化を図る ・配慮方針のホームページを改善する 	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー会議と認定審査会の円滑な運営を継続する 	

7 部長の2次評価

部名	都市環境部(都市計画担当)
部長名	林 茂晴
景観協議や認定申請の適切な審査を行なうことにより, 美しい都市景観の創造に貢献していると考えます。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	コミュニティ・スクール関係			事務事業番号	1021020
				担当課	生涯学習課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	長岡 一美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3272
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市コミュニティ・スクール推進要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	地域住民
	意図	コミュニティ・スクールの運営を、地域の住民が自主的に運営できるよう側面から援助・助成する。
大きな目的	地域住民の組織的な活動をより活発にする。	
全体概要	市内8小学校区の各コミュニティ・スクール及び三条コミュニティ・スクールの自主的な運営のための経費を一部補助する。 各コミュニティ・スクールの活動に対し支援を行う。 活動拠点として小学校の施設を開放。	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	63%	4,011	4,784		住民1人当たり(円)	79.51
	事業費	37%	2,843	2,809	2,923	1世帯あたり(円)	176.02
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	6,854	7,593	2,923	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	6,854	7,593	2,923			
合計	100%	6,854	7,593	2,923			
活動 配分 (人)	職員	87%	0.35	0.55			
	嘱託・臨職等	13%	0.35	0.08			
	合計	100%	0.70	0.63			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	各コミスク活動拠点の施設補修を年次的に計画すること。各コミスク及びコミスク連絡協議会の会計処理の整理。コミスク連絡協議会において活動目的の共通認識を深める。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください 夏まつり, 三世代交流, 文化活動発表会など地域に開かれた活動を実施 リスクマネジメント研修会を開催 コミュニティ・スクール登録団体数:302団体(平成23年度) 補助金:コミュニティ・スクール連絡協議会 118,000円 9コミュニティ・スクール 各270,000円			
(2) 平成23年度の改善内容 コミュニティ・スクール連絡協議会の会計処理の整理 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある	② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input type="radio"/> 達成した	② <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した
③ <input type="radio"/> 一部達成した	④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない
理由	コミュニティ・スクール連絡協議会の会計処理の整理。 コミュニティ・スクールの活動目的等の共通認識を深めることができた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある	② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある
③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。 各コミュニティ・スクール活動拠点の施設整備を年次的に計画し実施する。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。 各コミュニティ・スクール活動拠点の施設整備を年次的に計画し実施する。	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本 賢史
コミスク協議会を中心に, 市の立場から全体調整の役割を果たせたと評価しています。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋市芸術文化活動助成及び顕彰			事務事業番号	1021340
				担当課	市民参画課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	福島 貴美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	福島 貴美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	2123
事務区分	自治事務	実施期間	平成3年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市芸術文化活動助成要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	芸術文化活動を行う市民
	意図	市民の芸術文化活動を支援する。
大きな目的	市民の芸術文化活動の振興	
全体概要	<input type="checkbox"/> 芸術文化活動の助成 <input type="checkbox"/> 芸術文化活動の顕彰	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	89%	1,222	1,586		住民1人当たり(円)	18.59
	事業費	11%	200	189	401	1世帯あたり(円)	41.15
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	1,422	1,775	401	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
一般財源	100%	1,422	1,775	401			
合計	100%	1,422	1,775	401			
活動 配分 (人)	職員	79%	0.15	0.15			
	嘱託・臨職等	21%		0.04			
	合計	100%	0.15	0.19			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	市民及び市内において芸術文化活動を行っている団体又は、個人を対象に、芦屋市民の芸術文化活動の助成及び顕彰をすることにより、芸術文化活動の一層の振興を図る。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 文化振興に要する経費 211千円 (内訳) 芸術文化活動助成金 160千円 消耗品費等 51千円 <input type="checkbox"/> 芦屋市芸術文化活動助成 6団体 <input type="checkbox"/> 芦屋市芸術文化活動顕彰 3団体と5名			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。			
なし			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。	
理由	
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
① <input checked="" type="radio"/> 達成した ② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない	
理由	芦屋市芸術文化活動助成6団体と芦屋市芸術文化活動顕彰3団体と5名
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input checked="" type="radio"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	芦屋市芸術文化活動助成と芦屋市芸術文化活動顕彰を行う事業であるため、改善の余地はない。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題	部名	市民生活部
市民文化行政に関する計画、調査、研究、企画の調整、芸術文化活動助成、芸術文化活動顕彰は、文化活動を行なう市民からの声を反映するためにも、実際に市民が活動を行っている所管で担当する方が適切であると思う。	部長名	北川加津美
(2) 市民、関係者からの要望等	市民の芸術文化活動の一層の振興を図ることから事業を継続することは適切である。	
誰から	なし	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
市民及び市内において芸術文化活動を行っている団体又は個人を対象に、芦屋市民の芸術文化活動の助成及び顕彰をすることにより、芸術文化活動の一層の振興を図る。		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	
市民及び市内において芸術文化活動を行っている団体又は個人を対象に、芦屋市民の芸術文化活動の助成及び顕彰をすることにより、芸術文化活動の一層の振興を図る。		

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	市民参画・協働の仕組みづくりの推進			事務事業番号	1013010
				担当課	市民参画課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	福島 貴美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる	記入者名	福島 貴美
	施策目標	1-3	地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	内線	2123
事務区分	自治事務	実施期間	平成16年度～	会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市市民参画及び協働の推進に関する条例				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民
	意図	市民参画協働推進をするための仕組みを作る。
大きな目的	市民参画協働の仕組みづくりの推進	
全体概要	芦屋市市民参画・協働推進の指針、芦屋市市民参画及び協働の推進に関する条例、芦屋市市民参画推進計画により、市民参画協働の仕組みづくりを行う。 <input type="checkbox"/> 市民参画協働事業選定委員会の開催 <input type="checkbox"/> 市民参画協働事業の実施 <input type="checkbox"/> 市民参画協働推進会議の開催及び本部会議・幹事会の開催 <input type="checkbox"/> あしや市民活動センターの管理運営の指定管理者に対する指導と点検 <input type="checkbox"/> あしや市民活動フェスタの開催 <input type="checkbox"/> 市内中間支援団体交流事業の開催	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	34%	6,735	7,270		住民1人当たり(円)	226.34
	事業費	66%	12,497	14,345	13,901	1世帯あたり(円)	501.07
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	19,232	21,615	13,901	平成23年4月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	19,232	21,615	13,901		
	合計	100%	19,232	21,615	13,901		
活動 分 (人)	職員	88%	0.60	0.70			
	嘱託・臨職等	13%	0.20	0.10			
	合計	100%	0.80	0.80			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	(特活)あしやNPOセンター
		委託内容等	活動センターの使用の許可・運営・維持管理
23年度目標	市民参画協働のまちづくりを行うための仕組みづくり		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
<input type="checkbox"/> 市民参画推進に要する経費 13,901千円 <input type="checkbox"/> 市民参画協働推進会議開催 2回 <input type="checkbox"/> 芦屋市提案型市民参画協働事業選考委員会の開催 1回 <input type="checkbox"/> 市民参画の手続きの実施状況 1 審議会等の活用 11件 2 ワークショップの開催 1件 3 パブリックコメントの活用 9件(意見数 638件) 4 意見交換会等市長が適当と認める方法 6件 <input type="checkbox"/> あしや市民活動センターの開設及びあしや市民フェスタ等の開催 1 利用者 5,854人, 1,569団体 2 ティータイム交流会 4回 3 セミナー 5回 参加者56人 4 あしや市民フェスタ 2日間(10月)開催, 参加者1,076人			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
<input type="checkbox"/> あしや市民活動センターのティータイム交流会や講座の充実により市民の参画を促進した。 <input type="checkbox"/> あしや市民(活動)フェスタの開催によりNPO活動の発表と団体間の交流を行なった。 <input type="checkbox"/> 中間支援団体交流事業により団体間のネットワーク作りに取り組んだ。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> 整合性はある <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input checked="" type="radio"/> 達成した <input type="radio"/> 概ね達成した <input type="radio"/> 一部達成した <input type="radio"/> ほとんど達成していない ティータイム交流会や講座の充実により市民の参画を促進し, あしや市民活動フェスタの開催により, NPO活動の発表と団体間の交流を行い, 中間支援団体交流事業により, 団地間のネットワーク作りに取り組んだため
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> 改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 司法書士等の専門相談や連携事業の相談が増えているため, あしや市民活動センター管理運営費の枠では賅えない部分があるので運営の内容の検討が必要。あしや市民フェスタや中間支援団体交流事業などを指定管理業務として行う。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題	部名	市民生活部
市民参画協働推進は, 第4次総合計画に基づく重要な方針であり政策である。平成23年度に市提案型市民参画協働事業を行ったが, 参画協働を市全体で推進するためには, 市職員の理解と資質の向上が更に必要となる。	部長名	北川加津美
(2) 市民, 関係者からの要望等	本市の市政遂行上, 市民参画協働の仕組みづくりを推進・充実させる必要がある。	
誰から	あしや市民活動センターの指定管理者(理事長)	内容
		利用者間の交流とネットワーク化を更に進めたい。
(3) 平成24年度の目標・改善内容		
市民参画協働の仕組みづくりを推進する。 <input type="checkbox"/> 芦屋市市民参画協働推進計画を見直し, 全庁的に推進する。 <input type="checkbox"/> あしや市民活動センターの運営・移設のため, 指定管理者と会議等を定期的に行い支援する。 <input type="checkbox"/> あしや市民活動フェスタを開催する。 <input type="checkbox"/> 市内中間支援団体交流事業を開催する。		
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		
市民参画協働の仕組みづくりを推進する。 <input type="checkbox"/> 芦屋市市民参画協働推進計画を, 全庁的に推進する。 <input type="checkbox"/> あしや市民活動センターを指定管理者制度(あしや市民活動フェスタ・市内中間支援団体交流事業を含む)で円滑に運営するため, 会議等を定期的に行い支援する。	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	市民文化賞等顕彰事業			事務事業番号	1021330
				担当課	秘書課
総合計 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	今石佳太
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	今石佳太
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	2011
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	芦屋市民文化賞に関する規則, 芦屋市善行賞「つつじ賞」表彰要綱, 芦屋市警察官感謝状贈呈要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	学術, 芸術等に取り組む市民・団体。善行に取り組む市民・団体。芦屋警察署の警察官。
	意図	芦屋市における市民文化の向上発展を図る(芦屋市民文化賞)。善行者を称え「明るく住みよいまちづくり」に資する(芦屋市善行賞「つつじ賞」)。警察官の士気高揚を図り平和な市民生活を確保する(芦屋市警察官感謝状贈呈)。
大きな目的	市民文化の向上発展, 明るく住みよいまちづくり, 市内の治安の確保	
全体概要	<p>□芦屋市民文化賞:学術, 科学, 教育などの研究実践や芸術, 芸能, 体育などの活動, その他地域社会の向上発展に貢献し, その功績が顕著な人または団体に対し, 毎年11月3日文化の日に表彰状及び記念品の贈呈を行い顕彰する。</p> <p>□芦屋市善行賞「つつじ賞」:まちの美化や善行を続けている市民及び芦屋市に関係がある個人・団体に対し, 毎年6月1日善意の日を記念して当該日の前後に表彰状及び記念品の贈呈を行い顕彰する。</p> <p>□芦屋市警察官感謝状贈呈:市内の治安等の確保に顕著な功績があった警察官に対し, 毎年「社会を明るくする運動」の式典で表彰状及び記念品の贈呈を行っている。</p>	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	94%	4,935	4,117		住民1人当たり(円)	46.01
	事業費	6%	612	277	430	1世帯あたり(円)	101.86
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	5,547	4,394	430	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	100%	5,547	4,394	430		
	合計	100%	5,547	4,394	430		
活動 配分 (人)	職員	67%	0.40	0.40			
	嘱託・臨職等	33%	0.20	0.20			
	合計	100%	0.60	0.60			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営	委託先・指定管理者等	
		委託内容等	
23年度目標	顕彰すべき対象者をより確実に把握する。		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください 市民文化の向上に寄与された人を表彰することは、市における文化振興に貢献するものである。 しかしながら、善行賞の該当がなかったことから、今後は積極的に掘り起こしに務める必要がある。			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人,千円など)は、必ず明示してください。 顕彰すべき対象者等の把握時期を早めたことにより、市民文化賞等において表彰対象者を選ぶことが出来た。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	<input checked="" type="radio"/> 整合性はある <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。 該当者に対して顕彰することは、受賞された方の励みにもなり、市の掲げる計画とも整合性はあるものとする。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	<input type="radio"/> 達成した <input checked="" type="radio"/> 概ね達成した <input type="radio"/> 一部達成した <input type="radio"/> ほとんど達成していない 善行賞の表彰対象の推薦がないことから、表彰を行うことが出来なかったため
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="radio"/> 改善の余地がある <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 表彰対象者の周知等に努めることが次の選考にも影響することから、今後は広報について改善の余地があるものとする。

6 今後の対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題		部名	総務部(行政経営担当)		
		部長名	青田悟朗		
(2) 市民、関係者からの要望等		市民文化、善行などを顕彰することは、受賞された方の励みになるとともに、文化の振興、住みよいまちづくりにも寄与し、市民の積極的な活動を支援することにもつながるので有効である。 今後は、対象を広く照会することにより、充実した顕彰事業となることを望む。			
誰から	菊寿会会員			内容	菊寿会としての後援活動等の積極的活動
(3) 平成24年度の目標・改善内容					
顕彰の対象を平素から広く各種団体等に照会することにより、より有効な顕彰事業が展開できる。					
(4) 平成25年度以降の改善・方向性		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合			
顕彰の対象を平素から広く各種団体等に照会することにより、より有効な顕彰事業が展開できる。					

事務事業評価票(平成23年度決算評価)

1 事務事業の基本情報

平成 24 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	生涯学習推進事業			事務事業番号	1021010
				担当課	生涯学習課
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	課長名	長岡 一美
	目標とする10年 後の芦屋の姿	1	一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主 体のまちづくりが進んでいる	記入者名	長岡 一美
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	内線	3272
事務区分	自治事務	実施期間		会計区分	一般会計
根拠法令等	教育基本法, 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律, 芦屋市生涯学習出前講座実施要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業 の目的 対象・意図	対象	一般市民
	意図	生涯学習の推進
大きな目的	生涯学習の推進を図る。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習出前講座を実施 <input type="checkbox"/> 事業委託によりオープンカレッジを実施 <input type="checkbox"/> 富田碎花顕彰事業の実施 <input type="checkbox"/> 学校地域連携促進事業の実施(平成22年度・23年度) <input type="checkbox"/> 子育て創生事業	

3 事務事業の経費

事業費		構成(%)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	平成23年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	77%	4,260	5,420		住民1人当たり(円)	73.53
	事業費	23%	788	1,602	1,307	1世帯あたり(円)	162.78
	他部門経費					人口	95,500
	減価償却費					世帯数	43,138
	合計	100%	5,048	7,022	1,307	平成23年4月1日現在の住民 基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費					特記事項・備考	
	県費	13%	100	890			
	市債						
	その他 一般財源	87%	4,948	6,132	1,307		
合計	100%	5,048	7,022	1,307			
活動 区分 (人)	職員	77%	1.35	0.80			
	嘱託・臨職等	23%	1.08	0.24			
	合計	100%	2.43	1.04			

4 平成23年度の実施内容

実施区分	直営, 委託	委託先・指定管理者等	県立国際高等学校オープンカレッジ運営委
		委託内容等	世界各国の文化や言語等を学ぶ講習会を企画・運営。
23年度目標	生涯学習出前講座の内容整理 学校地域連携促進事業におけるネットワーク継続に向けた早期取り組みへの実施		
(1) 平成23年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください			
生涯学習出前講座(59講座)の実施 30回 912人受講。 県立国際高校オープンカレッジ運営委員会に事業委託し合計8回の講座を実施(100千円) 富田碎花顕彰会事業の実施支援(583千円) 学校地域連携促進事業: 精道小学校地域連携促進協議会総会及び幹事会2回の開催(90千円) ボランティアネットワーク研修会の開催 見守りボランティア情報交換会, ボランティア交流会の開催 スマイルネット通信の発行(計3回) 子育て創生事業: ①小学生対象体力づくり事業(600千円) 芦屋市立小学校8校で各一回ずつ実施 ・かけっこ教室 参加人数 319名 ・陸上チャレンジ 参加人数 314名 ②就学前・学齢期子育て講座(200千円) 芦屋市立幼稚園9園で実施 参加人数 327名			
(2) 平成23年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。			
出前講座の内容を整理			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 前期基本計画との整合性はあるか。(事務事業が施策目標を実現するための内容になっているか点検してください。)	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 整合性はある ② <input type="radio"/> 整合性はない ※「整合性はない」場合は下欄の理由を必ず記入してください。 出前講座を実施することにより, 幅広い知識と教養を育む機会を提供できた。また行政への市民参画意識の啓発にも繋がった。
(2) 当該年度に計画していた目標や成果は達成できたか。	
理由	① <input checked="" type="radio"/> 達成した ② <input type="radio"/> 概ね達成した ③ <input type="radio"/> 一部達成した ④ <input type="radio"/> ほとんど達成していない 出前講座の内容整理。 学校地域連携促進事業の実施により精道小学校に地域連携の組織を立ち上げることができた。
(3) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	① <input type="radio"/> 改善の余地がある ② <input checked="" type="radio"/> ある程度改善の余地がある ③ <input type="radio"/> ほとんど改善の余地はない 地域連携では県の補助が終了するのを機に, 如何に費用を掛けずに活動を続けていくかを工夫する。

6 今後の対応・方向性

(1) 現在認識している課題	
生涯学習出前講座の内容整理 学校地域連携促進事業の成果を今後の連携体制構築につなげる	
(2) 市民, 関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成24年度の目標・改善内容	
生涯学習出前講座の内容整理 学校地域連携促進事業の成果を今後の連携体制構築につなげる	
(4) 平成25年度以降の改善・方向性	
生涯学習出前講座の内容整理 学校地域連携促進事業の成果を今後の連携体制構築につなげる	

7 部長の2次評価

部名	社会教育部
部長名	西本 賢史
展開すべき個々の事業の対象や内容が異なるため, 事業内容が多角的することになるが, それぞれが市民ニーズに適合させた取組みとなっていると認識しています。 その上で今後も時代に適応した微調整を継続して行う必要があると思います。	
<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	